

すくすく
みどり



すくすくみどりは公園緑化協会ホームページからダウンロードできます

<http://www.sapporo-park.or.jp/kikin/>

公益財団法人 札幌市公園緑化協会

〒060-0031

札幌市中央区北1条東1丁目6番地16ニューワンビル4階

TEL.011-211-2579



緑と地球環境保護のため植物油インキを使用しています。

NO.
25

すくすく
みどり



家庭菜園に
チャレンジ!
part2

野菜の栽培方法 + 悩み解決 Q&A

公益財団法人 札幌市公園緑化協会

も く じ

	はじめに	2
	栽培のこよみ	3
	土づくりに挑戦しよう!	5
	野菜の栽培方法	
	ピーマン 7	キャベツ 31
	ナス 11	ホウレンソウ 35
	カボチャ 15	長ネギ 39
	スイカ 19	グリーンアスパラガス 43
	エダマメ 23	ブロッコリー 47
	スイートコーン 27	ニンジン 51
	貯蔵方法	55
	野菜の用語メモ	57
	緑の相談	58
	札幌市都市緑化基金	59

はじめに

コンテナを利用してベランダで野菜をつくる方やキッチンガーデンで美しい庭づくりと収穫の両方を楽しんでいる方、また、畑を借りて毎日のように通いながら色々な種類の野菜を本格的に栽培している方など、家庭菜園の楽しみ方は様々で、近頃野菜づくりはとても人気が高いようです。

前回発行の「すくすくみどりNo.24～家庭菜園にチャレンジ～」も大変で好評をいただいたことから、このNo.25はその続編として、アスパラガスやスイートコーンをはじめ、前回収録されていない12種の野菜を取り上げ、栽培方法や収穫した野菜の貯蔵方法のほか、園芸用語をわかりやすく解説しています。

こうした情報は、最近は書店やインターネットでも手軽に得ることができるようになりました。しかし、それらの内容は本州向けにつくられたものが多く、私たちの住む札幌でそのまま実践してもうまくいかないことがあります。

札幌の気候条件に合った適切な方法で育てることで、形や大きさ、味や香りなど、野菜の本来持つ魅力を最大限に引き出すことができます。

そうした野菜が収穫できるよう、この冊子を活用していただけると幸いです。

丹精込めた野菜がすくすくと育つさまを間近で見ることは家庭菜園の醍醐味ですし、採りたてのアスパラのみずみずしさ、もぎたてのトマトの豊かな香りなど、それらはお店では買うことのできないぜいたく品です。

さあ、みなさんも野菜づくりを始めてみませんか？

栽培のこよみ図

種まき 苗植え付け 生育期間 収穫

作物	作型	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			寒冷期 (11~3月)		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
ピーマン	トンネル																								
	露地																								
ナス	トンネル																								
	露地																								
カボチャ	トンネル																								
	露地																								
スイカ	トンネル																								
	露地																								
エダマメ	晩夏どり(マルチ)																								
	秋どり																								
スイートコーン	8月どり(マルチ)																								
	露地																								
キャベツ	8月どり																								
	秋どり																								
ホウレンソウ	春播き																								
	初夏播き																								
	夏播き																								
	寒締め																								
長ネギ	初夏どり																								
	夏秋どり																								
グリーンアスパラガス	1年目																								
	2年目																								
	3年目																								
	4年目																								
ブロッコリー	7月どり																								
	8月どり																								
	秋どり																								
ニンジン	9月どり																								
	10月どり																								

土づくりに挑戦しよう!



空気・水の通りの良い畑で根が生育しやすい土づくり

堆肥を毎年施用すると柔らかさを保てます。土は砂・粘土が多いと硬く締まり、堆肥が入ると空気・水の通りの良い柔らかい土になります。畑を深く起こしても、堆肥が少ないと土は短期間で締まってきます。堆肥を施用し柔らかくなった畑を、固相・気相・液相の三相がバランスの良い土といいます。化学肥料の施用だけでは、土は硬く締まってきます。堆肥は1㎡当たり2kgを毎年施用してください。



微生物の種類が多く肥料分を上手に貯えられる土づくり

堆肥を入れて微生物の種類・量を豊かにしましょう。堆肥は肥料を貯える能力にも優れ、十分に施用すると肥料をより多く貯え、施した肥料のムダが減りますし、堆肥が分解するとき養分も出るので、施用肥料を少なくすることができます。



土のpHを6前後に調整し肥料がバランス良く吸収される土づくり

※pHとは酸性かアルカリ性を測る物差し

畑が酸性の時は石灰で、アルカリ性の時はピートモスを施用します。土のpHが作物に合わない、肥料の吸収にムラ、生育の停滞、生理障害が生じたりしますので、土のpHを調べ適正量の石灰を施用して下さい。毎年コンスタントに石灰を施用するのは、石灰過剰につながりますので、必ず畑のpHを調べてから石灰の施用量を決めて下さい。※作物と適するpHは表1を参照して下さい。



適度の温度(15~25℃)を維持できる土づくり

堆肥の入らない畑は土が締まり、温度が上がりにくいので堆肥を入れて柔らかくなるように努めます。



連作を避けて病気の少ない畑の土づくり

輪作・混作(コンパニオンプランツ)を積極的に行います。輪作・混作を行うと、その空間・土壌中でたくさんの種類の虫、微生物が繁殖し、一つの生き物だけが繁殖するのを防ぐことができ、結果的に病原菌・害虫の繁殖を少なくすることができます。また、スイートコーン、ネギ類を積極的に取り入れましょう。スイートコーン、ネギ類は単子葉植物といいです。ほかの野菜のほとんどは双子葉植物で病気の種類が違い、輪作のサイクルが短縮できます。



過剰な施肥をしない土づくり

作物栽培参考書の施肥基準以上の肥料は施用しません。肥料の量が多いと、根が焼けて傷んだり、生理障害が発生しやすくなりますので施用量は守りましょう。

鉢・コンテナなど容器栽培の土づくり

容器栽培で用いる土は、畑より水はけを良くすることを心がけましょう。用土の基本配合割合は、赤玉土7:腐葉土又は堆肥3です。ただし、ナスは、赤玉土6:腐葉土又は堆肥4と少し水持ちを良くします。石灰は用土10L当たり15~20gが目安ですが、ホウレンソウ、キャベツは20~25gを目安として施用します。種まき、植え付けの2週間前にこれらを混合し、水をかけて全体をなじませておきます。肥料は種まき、植え付け1週間前に施用しておきます。この冊子での肥料は、園芸用化成肥料8-8-8(窒素8%、リン酸8%、カリ8%)を基準にしています。



表1.作物と適するpH

土のpH	作物名	土のpH	作物名
6.5~7.0	ホウレンソウ、レタス	6.0~6.5	サトイモ
	トマト		インゲン、エダマメ、スイートコーン
6.0~7.0	キャベツ、ハクサイ、アスパラガス		イチゴ、ラッカセイ
	エンドウ	5.5~6.5	長ネギ、ブロッコリー、チンゲンサイ
	ナス、ピーマン、キュウリ、カボチャ、スイカ		ニンジン、カブ、ゴボウ
6.0~6.5	コマツナ、シュンギク	5.5~6.0	ナガイモ
	タマネギ	5.0~6.5	パレイショ



ピーマンの栽培

ナス科 カプシクム（トウガラシ）属

ピーマンは唐辛子の一種で、辛味のない種類です。中央アメリカ、南アメリカの熱帯地方原産です。熱帯地方では越冬して低灌木となる多年草ですが、温帯では越冬できないので、1年生作物とされています。熱帯地方原産のため生育適温はやや高く20～25℃で、この温度は花粉の発芽適温でもあります。最低夜温は18℃以上が必要で、開花時の温度が10～15℃では着果しても種子ができません。果実肥大には種子の存在が大切です。

品 種

唐辛子類には多くの種類があります。「とうがらし」と呼ばれる辛とうがらし、甘とうがらしとして分類されるピーマン類です。さらに、ピーマン類は果実の大きさから小型の「シシトウガラシ」、中肉中型のピーマン類、厚肉大型のカラーピーマン類などです。カラーピーマンは緑色とは異なる果実色のピーマンの通称で、赤・黄・橙・紫・茶・白の6色があります。その中で肉厚で甘く果形がベル型の品種をパプリカと呼んでいます。

品 種 名		果 形	一 果 重
ピーマン	みおぎ、あきの	中 長	30～40g
	ニューエース		40g
カラーピーマン	「シグナル」シリーズなど	ベ ル	80g
	「パプリカ」シリーズなど		230g

畑の準備

作土層が深く、透排水性の良い肥沃な土壤が適しています。定植2週間前に1㎡当たり完熟堆肥を2kg、pHを6～6.5となるよう石灰資材を施し深さ30cm程度までよく混和します。定植1週間前に1㎡当たり野菜用有機化成肥料を100g全面散布し15cmの深さによく混和し、幅70～80cm高さ15cm程度の高畝のベッドを作ります。また、3～4日前にマルチングをすると地温が上がり、活着根付きが非常に良くなります。

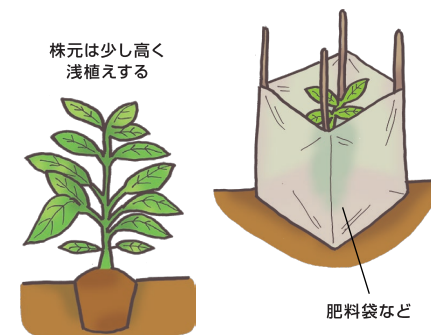
苗の準備

ピーマンは発芽・生育ともに高い温度を必要とするため、夏の短い北海道では、市販の苗を購入した方が良いでしょう。

苗を選ぶポイントは葉の色が濃く、節間がつまったしっかりとした茎の太いものを選びましょう。

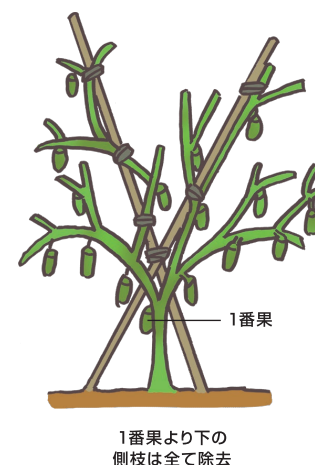
定植とその後の管理

ベッドに1条植えとし、株間は40～50cmとして、株元は少し高く浅植えにし、定植後、倒伏防止に短い仮支柱を立てて、肥料袋などで風よけをすると良いでしょう。収穫が始まったら、草勢を見ながら追肥を始めます。20日ごとに追肥用化成(窒素・カリ主体)を1㎡当たり20g程度を施し、灌水します。



仕立て方と整枝及び誘引

ピーマンは主枝の8～9節目に1番果を付け、以降、各節に花と側芽をつける性質があります。1番果が肥大し始める頃、側芽が伸びてきます。主枝と勢いの良い側芽を残し、それぞれを誘引できるように2本の支柱を立てます。それより下から伸びる側芽は全て取り除き、株元の風通しを良くなるようにします。その後はほぼ放任としますが、中央部が込み過ぎた場合は各着果している節で分枝した弱い方の枝の葉2枚を残して摘芯して込み過ぎを防ぎます。また、ピーマンは水平より下垂した枝の着果が悪くなるので、枝を誘引し葉に光が良く当たるようにします。



着果管理

ピーマンの第1果は着果させても変形果となる場合が多く、果実肥大に養分が取られるため、生育が遅れ、全体の収量が減少してしまいます。従って、第1果は早めに摘み取るか、成らせても早めに収穫するようにします。

収 穫

それぞれの品種に対応して収穫します。普通のピーマンでは開花から収穫までの日数は15～20日で、1果重35gを目安にします。たくさん実が着いた場合は早めにどんどん収穫し株が弱るのを防ぐことが大切です。完熟果を収穫するカラーピーマンでは開花後60日ほどで収穫期となります。

生理障害と病害虫対策

生理障害では、高温時や草勢が弱ってきて受精が不十分なとき種子が少なく変形となる「変形果」や、水分不足、高温乾燥や窒素過多によるカルシウム(石灰)の吸収阻害などカルシウム不足で発生する「尻腐れ」などです。

病害では「半身萎ちょう病」「うどんこ病」「疫病」「灰色かび病」などです。「半身萎ちょう病」は土壌病害ですから、ナス科作物の連作は避けましょう。

害虫ではアブラムシ、ハダニ、アザミウマなどの加害が問題です。近年果実に大きな穴を開ける「オオタバコガ」の被害が拡大傾向にあります。

容器栽培

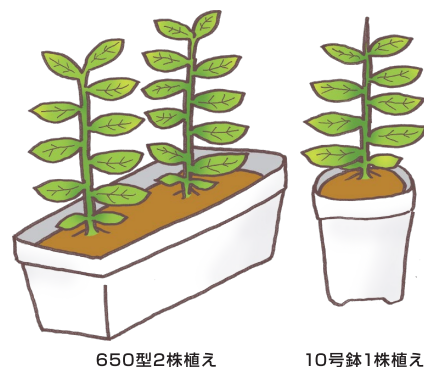
鉢 植 え 10号鉢に1株植え(必要用土約8L)

赤玉土(小粒)4.6Lに苦土石灰25g(pHを確認して調整)と堆肥2Lを植える2週間前に混和します。鉢底土としてゴロ土を約1.4L使います。野菜用有機化成肥料12gを植える1週間前に混和し、鉢に入れます。

コンテナ 650型に2株植え(必要用土約12L)

赤玉土(小粒)7Lに苦土石灰30g(pHを確認して調整)と堆肥3Lを植える2週間前に混和します。鉢底土としてゴロ土を約2L使います。野菜用有機化成肥料15gを植える1週間前に混和し、コンテナに入れます。

※鉢植、コンテナとも水切れしないように注意します。また、草勢を見て適宜、追肥します。



Q ピーマンの生育診断はどのような方法がありますか？

ピーマンは肥料不足や成り疲れ、枝の下垂による受光の悪化、水不足や低温による草勢の衰退により、新しい花の雌しべが短く雄しべまで届かない「短花柱花」となり落果することが多くなります。

生育診断	症 状
生育良好	雌しべが雄しべより長い長花柱花が咲いている。 先端から10～12cmに開花、25cmの位置で収穫。
生育不良	雌しべの短い短花柱花が咲いている。 枝先近くで開花している。

Q カラーピーマンが秋まで待っても色付きません。 色付くまで収穫は待った方が良いでしょうか？

完熟させて収穫するカラーピーマンは普通のピーマンに比べ開花から収穫するまでの日数が約3倍以上の60日程を要することから、収穫終了時に沢山の未熟果が残されます(道内では、7月下旬ころまでに開花したものしか綺麗に着色した完熟果の収穫は望めません)。しかし、秋の着色途中のものや未熟緑果も利用できますので、是非、美味しくいただきましょう。

Q シシトウが辛くなる原因を教えてください。

ナンバン(so-ban)のそばにシシトウやピーマンを植えていたら、辛くなったという話を聞くことがありますが、これは、ナンバンの花粉で受粉したのではなく、水分不足などのストレスを受けて辛味を増すのが理由です。乾燥や肥料不足に注意し、適切な管理を心掛けましょう。



ナスの栽培

ナス科 ナス属

原産地はインドの東部。奈良時代には日本でも栽培されていました。高温を好む野菜で、生育適温は22℃～30℃です。15℃以下では生育が止まり、着果不良となります。適応pHの範囲は広く、最適pHは6.0～6.5です。有機質に富む水分が十分な土壌を好みます。草姿は立性、開帳性、中間性があり、作りやすいのは中間性や立性です。果実は、未熟のうちに収穫するので北海道でも栽培しやすいです。

品種

ナスは、昔から地域に伝えられた色々な品種があります。果実の形は長形、卵形、球形などがあり、色も普通の黒紫色から、白色、緑色のものまで変化に富んでいます。

品種名	早晩性	草姿	果形	果の大小	用途
千両二号	早生	中間・開張性	長卵形ナス	中	煮物 焼物 漬物
千両			長卵形ナス	中～小	
長者			長ナス	大	
くろべえ			長卵形ナス	中	

畑の準備

同じナス科の野菜(トマト、ピーマン、ジャガイモ、シシトウなど)を3～4年は作っていない畑で、日当たりの良い、保水力のある肥沃な土が適しています。少なくとも植え付け2週間前までに1㎡当たり堆肥2kg、苦土石灰は畑のpHを確かめて適量(適正pH6.0～6.5)を全面散布し、30cm位の深さまで耕します。植え付け1週間くらい前に化成肥料(8-8-8)を1㎡当たり100～120g全面にまいてよく混和します。畝幅は1条植えの場合50～60cm、2条植えの場合90cmとし、透明ポリフィルムでマルチングをして地温を上げておきます。

苗の準備

タネからの育苗も可能ですが、ナスは土壌病害が発生しやすいので、家庭菜園では、接ぎ木苗を購入することをお勧めします。苗は、葉や茎の色の濃い、1番花が咲き始めたくらいの大苗を植えた方が早くから収穫できます。苗が小さい場合は、4～4.5号のポットに植え替えて、1番花が咲くころまで育苗します。



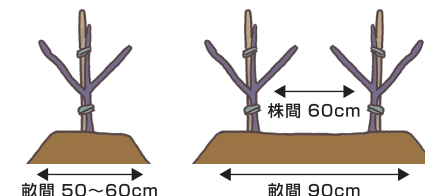
植え付け

地温が上昇する5月下旬～6月上旬に行います。植え付け時の地温は深さ10cmで16℃以上が望ましいです。2条植えの条間を60cmとし、株間は1条植え、2条植えとも45～60cmとします。ポリフィルムにナイフで十文字に切れ目を入れて植えるか、市販の植え穴掘り器で、植え穴を掘って植え付けます。苗には前日にたっぷり水やりをしておき、植え付け後は、汲み置きの水をやるようにして、冷たい水はやらないようにします。根づくまで肥料袋などで風除けをすると良いでしょう。



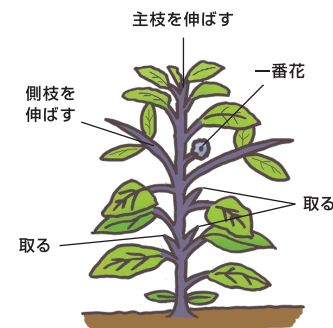
支柱立て

植え付けと同時に、倒れないように支柱を1本立てて結束します。成長と共に先端部近くを結束してゆきます。



整枝

一番花の下から出る2本の強い側枝を残します。それより下から出る側枝はすべて欠き取り、主枝とともに3本仕立てにします。それ以後の整枝は、特に必要ありませんが、生育が旺盛になって、枝葉が込み合ってきたら内側に伸びている枝を間引いて内部に光が当たるようにします。



追肥・灌水

ナスは肥料を好む野菜です。肥料を切らさないように、追肥は入念に行います。1回目は、定植2週間後～収穫初めに化成肥料(8-8-8)を1㎡に30～40g散布し、その後は、20～30日ごとに株元から少し離して畝の肩部に散布します。マルチの場合は肩部をめぐって、中央部はマルチングに穴をあけて散布します。

マルチングしてない場合は乾燥防止、雑草発生防止、過度の地温上昇防止のために敷き藁をして、畑地の表面が乾き始めたら灌水します。

病害虫

病 害 灰色かび病、うどんこ病、半身萎ちょう病

密植を避け、古い枝葉を除去して、内部に光と風が当たるように育てましょう。病気が発生したら、早めに殺菌剤を散布します。半身萎ちょう病は土壌病害で防除は難しいです。接ぎ木苗を植えることをお勧めします。

虫 害 アブラムシ、ハダニ

若い葉が変形したり、色あせたりします。葉の裏に水を勢いよく噴射させて洗い流すか、殺ダニ剤や殺虫剤を使用して駆除しましょう。

収穫

開花後、早生種で25日、晩生種で30日ほどの未熟果を収穫します。完熟果は果肉も堅く、堅いタネがあり、口当たりも良くありません。1番果は早めに収穫します。いつまでも実を着けておくと、株が弱る原因にもなります。収穫は、気温の上がない早朝が良いです。

容器栽培

用土は赤玉土(小粒)6、堆肥4の割合に混和します。用土10L当たり苦土石灰10~15gを植え付け2週間前に、化成肥料(8-8-8)15~20gを1週間前に混和して馴染ませておきます。苦土石灰はpH6.0~6.5になるよう調整します(p6表1参照)。市販の野菜用培養土を使用する場合には肥料の有無、pH調整の有無を確認して使用します。

鉢 植 え

■10号鉢に1株植え(必要用土約8L)

鉢底石をひと並べ入れ、用意した用土を入れます。

コンテナ

■650型に30cm間隔で2株植え(必要用土約14L)

鉢底石をひと並べ入れて、用意した用土を入れます。

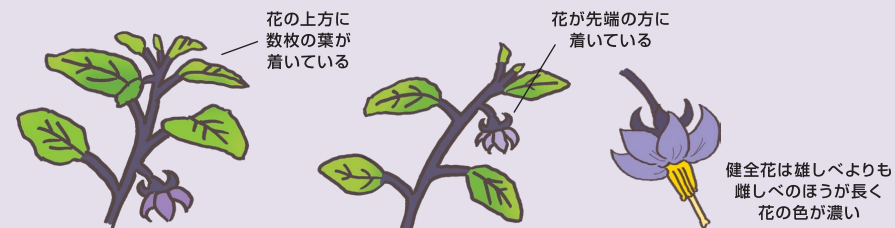
支柱、整枝、施肥などの諸管理は、露地植えに準じますが、容器栽培では、灌水による肥料の流亡が多いので、さらに1週間から10日間隔で液肥を与えるようにしましょう。

Q 1番果が堅くて食べられないことがあるのは何故ですか？

ナスはインド原産の熱帯性の野菜で、受粉から果実の発育までには20~25℃の温度が必要です。1番果が咲くころはまだ気温が低く、低温障害によって、受粉されずに果実が肥大することが起こりやすいです。この果実は堅いナスになります。これを石ナスと呼んでいます。低温期にはトマトトーンなどのホルモン剤を使用すると効果があります。

Q 初期には収穫がありましたが、その後は、実がつきません。何が原因でしょうか？

ナスは花を見れば株の生育状態が判ります。雄しべより雌しべのほうが長く伸びていれば、株が健全な証拠です。反対に雄しべのほうが長いと、実のなりが悪くなります。また、花の着く位置によっても生育状態が判ります。花が株の先端につくのは、肥料切れ、水不足、病害虫などで生育が衰えているサインです。



Q ナスの花は千に一つの無駄がないと言われますが、花が落ちてしまうのは何故ですか？

葉が茂りすぎて花に光が当たらないと、受粉せずに落ちてしまうことがあります。3本仕立てにして、その後、枝葉が込んできたら内向きに伸びる枝など、込み合って日陰を作る枝を剪定して、花に光を当てましょう。

Q 収穫が始まる頃から日中に下葉がしおれ、朝には元に戻る現象を繰り返しているうちに、やがて株の片側の葉がしおれて垂れ下がり、ほとんど収穫できません。何が原因でしょうか？

半身萎ちょう病という厄介な病気です。病原菌はバーティシリウム・ダリーエというカビの一種の典型的な土壌伝染病で、土壌中に長期間(数年~10数年)生存します。病原菌の伝染経路は、被害作物の根や残渣のすき込みによる土壌伝染や、靴底や農機具に付着した汚染土壌の移動などがあります。連作を避けることと、接ぎ木苗を購入することをお勧めします。



カボチャの栽培

ウリ科 カボチャ属

原産地は、メキシコ、ペルーなどの中南米です。生育温度は、17～20℃で、ウリ類の中ではもっとも低温を好み、連作が可能な作物です。土壌pHは6.0～6.5。排水良好な砂質土壌～壤土に適します。根は深さ2mくらいまで伸びますが、移植栽培ではかなり浅くなり、支根の多い根圏を作り、乾燥に耐えます。吸肥力が強いので、やせ地でもよく育ちます。多肥、とくに初期の窒素過多ではつるが伸びすぎて実の着きが悪くなるので（つるぼけといいます）、基肥の与えずぎに注意しましょう。栽培は容易ですが、場所を広くとるのが家庭菜園にとっては難点です。

品種

日本カボチャ 黒皮、小菊など

高温多湿を好むので、北海道には向きません。全国的にも現在はほとんど栽培されなくなりました。

西洋カボチャ えびす、みやこ、雪化粧、坊ちゃん(小型)など

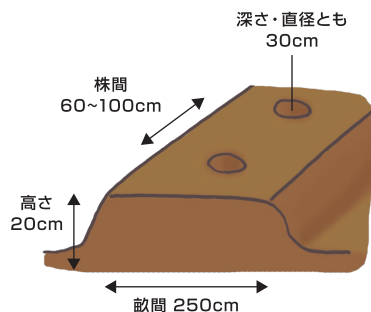
北海道に定着し、広く栽培されていますが、最近では西洋カボチャ間の一代雑種(F1)品種が主流です。

ペポカボチャ ズッキーニ、アトランティック・ジャイアント(家畜の餌料)、おもちゃカボチャなど

品種名	早晩性	果形	果の大小	果皮色	用途
くりあじ	早	扁・円形	中	濃緑	粉質(ほこほこ)
みやこ					粉質
えびす	やや早		大		やや粘質

畑の準備

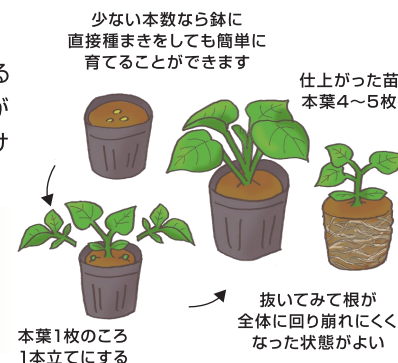
日当たりが良く、排水の良い場所を選びます。植え付け2週間前までに、1㎡当たり苦土石灰100g(土壌pHを確認して調整)、堆肥1kgを畑全面にまき、深さ30cmくらいまでよく耕します。植え付け1週間前に化成肥料(8-8-8)を1㎡当たり40～60g散布します。畝幅250cm、排水を良くするために、高さ20cmの高畝にして、マルチをしておきます。



苗の準備

箱に種をまいて本葉1枚の時に鉢上げする方法もありますが、ポットに直接まいた方が簡単です。市販の育苗用土を使用して、植え付け予定の約25～30日前に種をまきます。

- 3号ポットに種3粒をまき1cmくらいの土をかけて灌水します。
- 本葉1枚時に生育の良い苗1本を残して、2本を地際で切って間引きします。
- 本葉4～5枚で定植します。畑に直まきも可能です。



植え付け

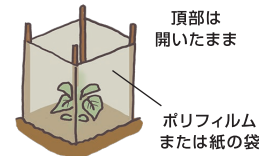
植え付け時期は、5月中旬～5月下旬。株間は、3本仕立ては100cm、2本仕立ては60cm程度、1本仕立てはそれより狭くします。苗を植える場合は、マルチの上から植え穴を掘って根鉢をくずさないように植え付けます。直まきの場合は、よく耕した場所に直径30cm、深さ3cmの穴を掘って埋め戻し、3～5粒の種をまきます。本葉2～3枚になったら1本に間引きします。発芽後または植え付け後の苗をホットキャップなどで保温するとさらに成長を早めます。

ポットキャップ



生育初期の保温と害虫防除に役立つ。頂部は切り取り、換気孔をつくっておく(育つにつれ大きく切る)

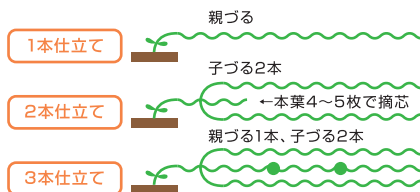
あんどん



整枝

カボチャはたくさんのつるを伸ばすため、たくさんの実を付けると十分な養分が行きわたらず、小さく味の悪いものになります。整枝することで葉に十分な光があたり、実に養分を届かせることができます。

- 子づるを全て摘み取る1本立て
- 親づるの4～5節目を摘み、勢いの良い子づる2本を仕立てる2本立て
- 親づる1本と子づる2本を伸ばす3本仕立て(一般的な仕立て)

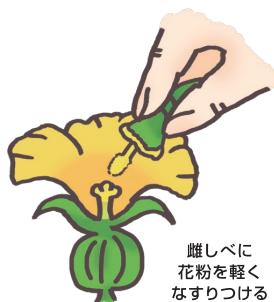


摘果

一番果は小果や奇形果になりやすいので、12節までは摘果します。葉やつるの勢いが強い場合は、一番果を残し、つるぼけを防ぎます。1株の着果数は1本仕立てでは2個、2・3本仕立てでは一つに2個ぐらいが基本です。

人工授粉

カボチャには雄花と雌花があります。最初の雌花は親づるの7～8節に着きます。その後は親づるも子づるも4～5節おきに着きます。親づるの1番花が咲く時期は、雄花の数が少ないのと訪花昆虫が少ないので、確実に着果させるために人工授粉を行います。雌しべの柱頭に軽く転がすようにして花粉をつけます。1個の雄しべで3～4個の雌花に授粉可能です。カボチャの花は早朝に咲くので、授粉はできれば朝8時ごろまでに終わらせませす。



追肥

定植40日目ごろまでのつるの成長は遅く、その後実の肥大に伴い急激に成長します。この時期に養分が不足すると実の肥大および澱粉蓄積に影響するので、収穫まで肥効を維持する必要があります。実がこぶし大になった頃、化成肥料(8-8-8)を一株当たり40～50gを各つる先に施します。最近では肥効調節型肥料や、有機質肥料などの緩効性肥料を利用した全量基肥による栽培も行われています。

玉直し

横になっている実は、上向きに直し、敷き藁などを敷いて、全体に日を当て色を良くします。

収穫

品種によって多少の違いがありますが、開花後45～55日が収穫の目安です。収穫適期になると果梗にコルク状のひびが入り、表皮の光沢が消え、表皮に爪が立たなくなります。なお、カボチャは、収穫後にデンプンが穏やかに糖に変わっていくので、採りたてよりも、しばらく置いた方が、甘みが増しておいしくなります。3～4週間ほど保存してから食べるとよいでしょう。

容器栽培

容器栽培にはミニカボチャが向きます。用土は、赤玉土(小粒)5、堆肥4、火山礫1の割合に配合したものを使用します。用土10Lに苦土石灰15～20g(土壌pHを確認して調整)を植え付け2週間前に、緩効性化成肥料10～20gを1週間前によく混ぜてなじませておきます。

鉢植え

10号鉢に1株植え(必要用土約8L)

容器の底に鉢底石をひと並べ敷いて、用意した用土を入れ、種を3粒まくか、苗を植え付けます。親づる1本仕立てにして、果実2個を着果させます。整枝や追肥は、露地植えに準じますが、容器栽培では灌水による肥料の流亡が多いので、草勢を見ながら、10日間隔で液肥を与えます。鉢の用土を乾かさないように注意しましょう。



Q

つるが良く伸びるのに実があまりなりません。何故でしょうか？

いわゆるつるぼけです。基肥に窒素分が多いと、つるばかりが伸びてしまいます。つるぼけは、実が落ちる原因にもなります。基肥は全施肥量の半以下にして、果実がこぶし大になったら追肥をしますが、それまで多肥は禁止です。

Q

もらったカボチャがおいしかったので、その種をまこうと思いますが、同じものが出来るでしょうか？

品種には品質の良い個体を選んで何代も種採りを繰り返して出来上がった固定品種と、優れた品種間の交配によって作り出された一代雑種(F1品種)があります。固定品種であれば同じものですが、現在、カボチャの主要品種は、ほとんどがF1品種で、その種をまいても食べたカボチャと同じものができるとは限りませんので、できれば品種の名前を調べてその種を購入されることをお勧めします。

Q

ズッキーニは、カボチャの一種だそうです。作り方を教えてください。

ズッキーニは、ペポカボチャの一種で、別名を「つるなしカボチャ」といいます。葉は大形です。つるが伸びず、葉腋に連続して雌花がつく節なり性です。グリーントスカ(緑色)、ゴールドトスカ(黄色)、オーラム(黄色)、ダイナー(緑色)などの品種がありますが、どの品種もよく育ちます。育て方は、他のカボチャとほぼ同じです。日当たりのよい場所を選んで、畝幅を70cmとし、マルチをします。株間60～70cmで苗を植えます。茎が伸びてきたら株わきに70～100cmの太い支柱を立てて、茎が伸びるに従って誘引していきます。支柱を立てるときは茎や葉にトゲがあるので注意しましょう。

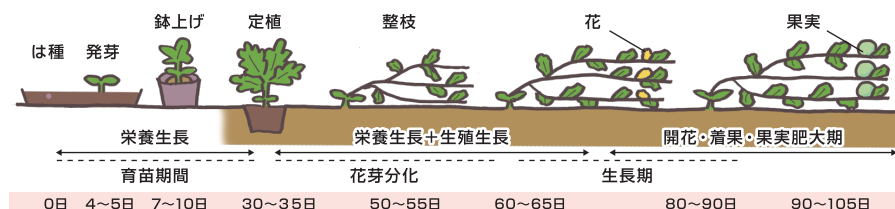
開花後4～5日で長さ15～20cmぐらいの未熟果を収穫します。初収穫から約2週間おきに3回、化成肥料を1㎡当たり40g施します。次々と収穫できるので、肥料切れさせないことが大切です。ただし、肥料分が多過ぎると茂り過ぎて、実つきが悪くなるので注意します。若いうちに収穫して、長く楽しむのが栽培のコツです。



スイカの栽培

ウリ科 スイカ属

原産地はアフリカで、高温を好む作物です。生育適温は、昼間25～28℃、夜間18～23℃です。13℃以下では生育が抑制されます。以前はお盆過ぎによく収穫できましたが、最近では、品種改良と栽培技術の進歩によって盛夏の時期に収穫できるようになりました。



品種

種類	品種	種類	品種
大玉種	祭りばやし、マイティ21、必勝、夏のだんらん	黒皮種	タヒチ
小玉種	マダーボール、黄こだま2号、姫甘泉、スウィートキッズ	黄肉種	レモニー

畑の準備

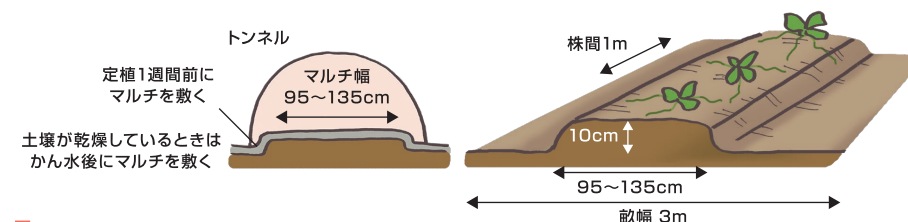
スイカは、根が浅いので、有機質の多い砂地に近い土が適しています。土壌pHは6.0～6.5で生育が良好になります。つる割れ病をはじめ、土壌病害がたくさんあるので、ウリ類を数年間作ったことのない畑を選びましょう。1㎡当たりの施肥量は、成分量で窒素12g、リン酸15g、カリ12gですので、定植予定の2週間前までに、1㎡当たり石灰は200gを目安として適正pHになるよう調整して、堆肥2kg以上、化成肥料100gを散布し、高さ10cm、幅1mの高畝をつくります。隣の畝との間隔は、3mは確保します。ポリエチレンフィルムでマルチングをし、さらにトンネルを掛けて、できるだけ地温を高めておきます。

苗の準備

苗は市販の接ぎ木苗を購入するとよいでしょう。「ゆうがお台木」、「かぼちゃ台木」があります。本葉4～5枚で葉が大きく、つるが伸びすぎでいないがっしりした苗で、接ぎ木をした部分がよく活着し、根張りのよいものを選びます。

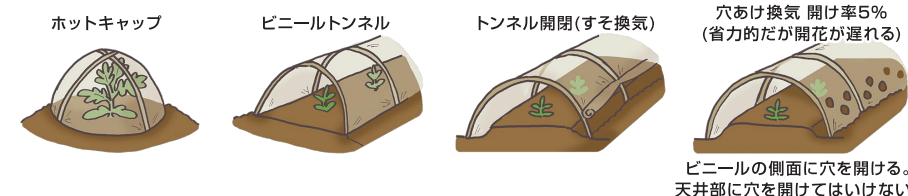
植え付け

苗の植え付けは、地温が15℃以上になってから行います。晴天無風の日を選び、午前中に行います。植え付けの前に苗に十分に水やりをしておき、植え穴は1m間隔にとり、水やりをしないで、ていねいに植え付け、すぐにトンネルをかけて保温すると、活着が早まります。栽植密度は、トンネル栽培の場合は、畝幅3m（ベッド幅95～135cm、通路幅165～205cm）株間1mです。本数の少ない場合は、ホットキャップを用います。



温度管理

植え付け後、苗が活着するまでは、トンネルを密閉して温度を上げ、活着と成長を早めます。昼間30℃を超すようなら少し換気をして、高温障害にならないように注意します。活着後は、トンネルのすそを上げるか、トンネルのすそ側に丸い穴を開けて換気します。ホットキャップは内側の水滴が消えたら、頂部に小さな穴をあけ、徐々に大きくしていきます。その後、晩霜の恐れがなくなれば除去します。つるが伸びてきたら、すそを大きく上げるか、横穴を大きく開けて、畝間へつるを伸ばします。



整枝

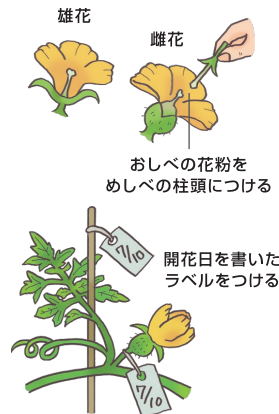
スイカの雌花は、ふつう親づるの8～12節目に第1雌花がつき、その後は5～10節ごとにつきます。整枝の方法には、いくつかの方法がありますが、2つの方法を紹介します。

① 親づると、生育のよい子づるを3本伸ばし、他の子づるは早目に元から摘み取ります。伸ばすつるが決まったら、X状に四方に向かって伸ばすか、適当な間隔をもたせて一つの方向に伸ばします。そして、途中から出るつるは早目に摘み取ります。親づるの第1雌花を着果させると、他の3本の子づるの伸長が抑えられ、雌花のつきも悪くなるので、親づるの第1雌花は早目に摘除し、15～20節ごろから果実をつけるようにします。

② 本葉が5～6枚のとき、親づるの先を摘み取り、子づるを3～4本伸ばします。子づるの15～20節の間で着果したものを残すようにし、15節より前や20節より後に着果したものは野球ボールくらいになったら摘果します。こちらの場合も途中から出るつるは早目に摘み取ります。

人工授粉、着果標識、玉直し

訪花昆虫が少ない時は、人工授粉を行ったほうが確実に着果します。雌花が咲いたとき、雄花をとって、花粉を雌花の柱頭に直接つけます。おしべの成熟時間は早朝です。遅くとも午前11時までに授粉させます。雌花が完全に受精したことを確認したら、日付を記した標識(着果標識)をつけます。果実の直径が15～20cmになったら、地面に接していた白い部分を上に向け、この面にも光を当て、緑色に着色させます(玉直し)。また、果実が直接地面につかないようにするための発砲スチロール製の敷物も市販されています。



追肥

追肥は、果実がこぶし大になった頃、つるの先端の位置に、化成肥料を1株当たり100g施用します。

摘果

株元から1.5m以内に着果させると、変形果、もしくは空洞果になります。1株に成らせる果実は、3個くらいが適当です。

病虫害防除

病害ではつる割れ病、つる枯病、炭疽病、半身萎ちょう病、急性萎ちょう症、害虫ではアブラムシ類、ハダニがあります。殺菌剤・殺虫剤で防除します。

収穫

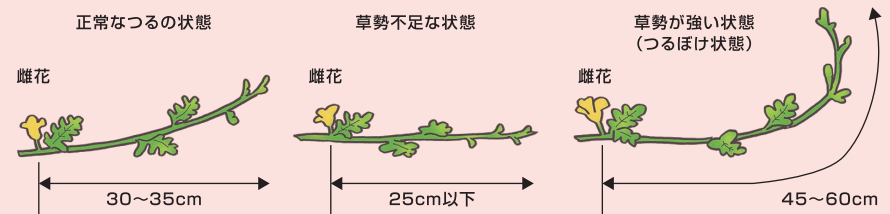
授粉後(開花後)大玉種で45～50日、小玉品種で35～40日で収穫適期となりますが、次の事がらを目安に収穫します。

果形	肩の張りがよくなり、花落ち部分がへこみ、周辺の張りがでてくる。
色沢	若いつやが失せ、色沢が鈍くなる。
打音	指の腹でたたくと濁音(ポテポテ)を発する。
巻きひげ	果実のついている節から出た巻きひげや葉が枯れる。
触感	花落ち部を指先で押すと、弾力が感じられる。
試し切り	十分に熟している。

Q 親づるの一番果を摘果した方がよいと言われるのは何故ですか？

一株に3個着果させることを目標に摘果します。株元から1.5m以内に着果させると草勢が強すぎるため、変形果、もしくは空洞果になります。

Q スイカの生育の良しあしの見分け方を教えてください。



Q コンテナ栽培の仕方を教えてください。

鉢植え

■10号以上の鉢に1株植え(必要用土約8L)

- ・肥料 堆肥、化成肥料100g
- ・野菜用培養土(元肥入り、pH調整済み)

コンテナ

■深600型に2株植え(必要用土約16L)

- ・野菜用培養土(元肥入り、pH調整済み) 約14L
- ・鉢底石 約2L

■650型に2株植え(必要用土約12L)

- ・野菜用培養土(元肥入り、pH調整済み) 約10L
- ・鉢底石 約2L



つるを支柱に針金で固定する

いずれも、小玉スイカのあんどん作りが適しています。畑の植え付けと同様に地温15℃以上を保てるようになったら植え付けします。つるが伸びてきたら支柱をたて、しっかりつるを固定します。また、不要なつるは早目に摘み取り、風通し良く育てます。その他の育て方は畑で行う方法に準じますが、追肥の量は一握りで十分です。



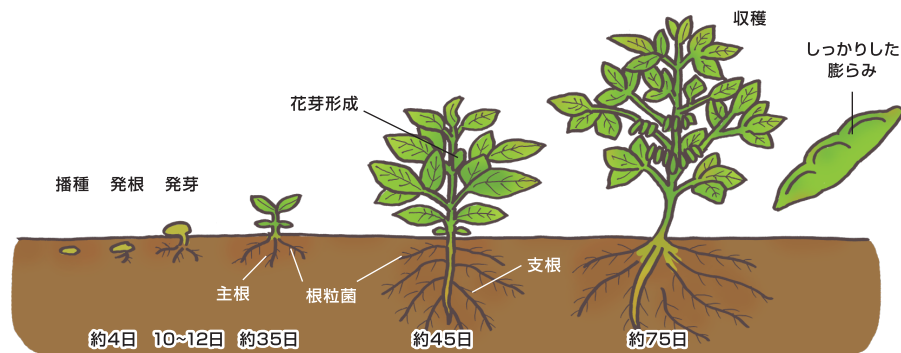
エダマメの栽培

マメ科 ダイズ属

「エダマメ」は、大豆の「未熟子実」を食用にしたものです。大豆の原産地は中国の東北部とされていますが、日本へは2000年ほど前に大陸から渡来したものとされ、江戸時代にはすでに品種改良が進められていたようです。生育適温は20～25℃、発芽適温も25～30℃と比較的高く、発芽までに10℃以下が続くと種子は腐敗します。また、開花期に15℃以下が続くと実付きが極端に悪くなります。

品 種

北海道では生育温度の限界から、生育期間の短い早生系の品種が主流です。サッポロミドリ、さやね、ゆきむすめ、サヤコマチなどがよいでしょう。



畑の準備

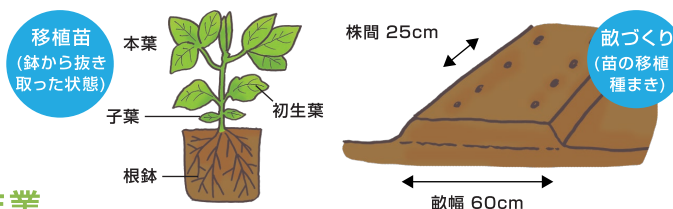
作土層が深く透水性のよい畑で、pH6.0～6.5の弱酸性が適しています。数年マメ類の作付けがない畑に、前年秋に堆肥、石灰(畑のpHを確認)を適正量施し、耕しておきます。春耕した後、基肥に1㎡当たり豆用化成肥料100gを表層施肥し、表土10cmによく混入します。

種まき

直まきが一般的です。地温が15℃以上になる6月中旬が適期ですが、早くまきたいときはマルチング、トンネルなどで地温を上げておきます。基本2条植えとして、畝幅60cm、株間25cm、1カ所2～3粒まきとします。種は指で2cmくらい押し込み、土を寄せて軽く手で押さえます。種まき後、鳥害防止に不織布のベタ掛けをするとよいでしょう。また、野鳥などの被害を避けるため育苗して移植することも一つの方法です。

移 植 栽 培

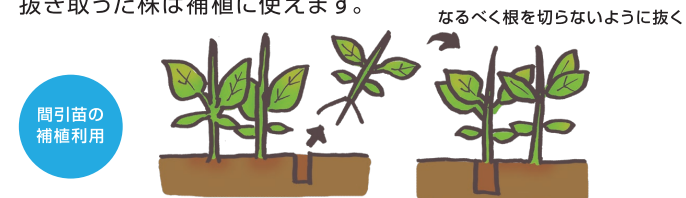
ポリポットに直接まき付け、本葉が出て、根が十分回ったら本畑に移植します。このとき、根鉢(鉢から抜き取った状態)を崩さないよう注意しましょう。



生育中の作業

間 引 き

3粒まいて3本出たら遅れて出た1本を初生葉展開から本葉が出るまでに抜き取ります。株間が狭いときは1本のみ残します。抜き取った株は補植に使えます。



追 肥

エダマメは根に着いた根粒菌の働きにより空気中の窒素成分を取り込むので追肥の必要はありませんが、初めての作付けや酸性土の場合は根粒菌の着生が悪いので草丈20cmくらいで成分量1g(追肥用化成肥料20g/㎡)程度与え軽く土寄せします。

病虫害防除

タネバエ

春に有機物(堆肥)を施すと発生しやすいので殺虫剤をまき、畝に攪拌してから種をまきましょう。

マメシンクイガ

莢の伸長期に成虫が卵を産みつけます。着莢期と肥大期に殺虫剤散布をしましょう。

ダイズわい化病

病原はウイルスです。アブラムシが媒介するので、アブラムシの駆除を徹底します。周辺にクローバー類があると伝染源になるので、除草して処分しておくのがよいでしょう。

収 穫

さやの厚さが5mm程度(さやの上から豆を押すとブルンと飛び出す)になったら収穫期です。品種によって違いはありますが、開花後35～40日ごろです。

栄養価・保存

「エダマメ」は大豆の若採りですが、大豆同様に良質なタンパク質、炭水化物、脂肪などがバランス良く含まれています。特にビタミンA(カロテン)、ビタミンC、サポニン、葉酸、エビキノンなどは大豆よりも多く含まれています。

収穫が多いときには冷凍で保存しましょう。1Lの水に大さじ1杯の食塩を加え、沸騰した湯で3分間ほど茹でて、冷水中で冷やして保存用ポリパック(チャック式)に詰めて冷凍庫に保存しましょう。翌年夏まで利用できます。

容器栽培

コンテナ

■650型に2～3粒ずつ5ヵ所(必要用土約12L)

用土

市販の培養土は野菜用(肥料無添加)を使います。自家製であれば、硬質赤玉土、腐葉土(牛糞堆肥)、火山礫を5:3:2の割合で混ぜ合わせて用意します。

施肥

種まきの1週間前にマメ科用化成肥料(N2-P10-K8)8gを(野菜用化成肥料8-8-8であれば1㎡当たり2～3g)表層施肥して10cmの深さに攪拌します。施肥量が多すぎると栄養生長が進み、開花やさや付きが極端に悪くなるので注意しましょう。追肥に窒素肥料(硫酸など)を本葉の出たところで土寄せをかねて施します。土寄せは株元が少し隠れる程度、軽く転圧しておくと倒伏防止にも役立ちます。

種まきと その後の 管理

種まきは6月上旬。種まきの数日前に灌水して、地温上昇を確かめてからまきます。は種後すぐに灌水できないので、発芽までビニール等で軽く覆いをしておきましょう。コンテナでは2～3粒ずつ5ヵ所に千鳥にまいて、発芽したら5株(1本立ち)になる様、間引きます。土が浅い場合はこのときに加えても良いでしょう。同時に窒素肥料の追肥(要素量約1g、硫酸目安で5g)を施します。



※コンテナの排水孔が底に開いているものもあります。

Q & A

エダマメ編

Q

エダマメを数年作っていますが、初年度は全く実が付きませんでした。一昨年あたりから実は付きますが実の入っていないさやが多く、葉ばかり茂っています。

まず、考えられるのは多肥です。豆類は空気中の窒素成分を取り込む能力のある根粒菌がありますから、そこへ普通の作物並みの施肥をすると窒素過剰で栄養生長が進み、茎葉ばかりが茂って花をつけません。過去に豆類の作付けがない場合は通常の施肥でかまいませんが、インゲンやとら豆、花豆などの作付け跡地では、植え付け時の施肥を1/2位に減らし、追肥は控えます。

Q

開花期から実を付ける時期に、蕾や花、実が落ちることが多くなったように思います。なにが原因でしょうか。

原因は土壤水分の不足、養分不足、開花時の低温等が考えられます。いずれも生理的障害ですので、過乾燥(日照りが長い)の場合は灌水も必要になります。植え付けの時の転圧は過乾燥を防ぐ手段です。または、作付けした畑で過去に豆類を作ったことが無く、また、極度な酸性土壌やクローバーなどの緑肥投与がない場合、根粒菌の着生が十分でないことも考えられるのでアンモニア系窒素(要素量1㎡当たり1g)の追肥が必要になります。

Q

実を付けた後の野ネズミの対策に苦慮しています。エダマメの実葉陰に隠れて見えないので、被害に気づいたときには見事にやられてしまいます。

北海道にはヤチネズミ属のエゾヤチネズミによる農作物の食害が多く発生します。各地域で対策に苦労しているようですが、大がかりな対策もあり効果がありません。トラップ(ねずみ取り網)の使用はアナログな手段ですが、家庭菜園では比較的効果があるようです。また、普段から畑周りにネズミの棲み処になりやすい草木などを片付けるのも功を奏します。エダマメがネズミの被害にあわない環境づくりを考えましょう。

Q

ビニール製の肥料袋でも育てられると聞きました。どうやって育てたら良いか教えてください。

15kg～20kgといった大きなビニール製の肥料袋は丈夫な上、少量で良い時や、少し狭い場所にも置けるので便利です。

排水用の穴を必ず袋の底に数ヵ所開けます。用土は容器栽培に準じます。袋の大きさにより用土の必要量が異なりますが、10Lくらいあるとよいでしょう。施肥や種まき、その後の管理も基本的に容器栽培と同じですが、種をまくときは2～3粒ずつ1～2ヶ所(2ヶ所の場合は少し離す)にまき、発芽したらそれぞれ1本立ちに間引いて1～2株で育てます。



スイートコーンの栽培

イネ科 トウモロコシ属

スイートコーンはメキシコ南部から南米あたりの赤道に近いところが原産のため、強い光とやや高温でよく育ちます。生育適温は22～30℃で、発芽適温は30～35℃とかなりの高温が必要です。このため普通の露地栽培(5月中旬～6月中旬は種)の場合、発芽まで8～10日を要します。は種後45～50日・本葉数6～7枚頃に花芽分化し、65～70日頃雄穂(雄花)が先に出て、3日ほど遅れて雌穂(絹糸)が出、風により花粉が運ばれ交配されます。交配後21～27日目頃が収穫期となります。干ばつに弱いので保水性が高く、有機質に富む土壌を好み、土壌pHは6.0前後が良いでしょう。

品種

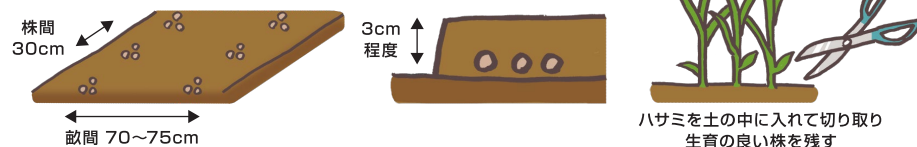
イエロー種	恵味ゴールド、ゴールドラッシュなど
バイカラー種	ピーターコーン、ゆめのコーンなど
ホワイト種	ピュアホワイトなど

畑の準備

は種の2週間前に1㎡当たり完熟堆肥3kg、苦土石灰は土壌pHを調べてから必要量を全面散布し30cmほどの深さによく混和します。は種1週間前に1㎡当たり野菜用有機化成肥料80gを全面散布し20cmの深さによく混和します。種子と肥料が直接接触すると、肥料の濃度障害が発生しやすく発芽が遅れます。

種まきと間引き

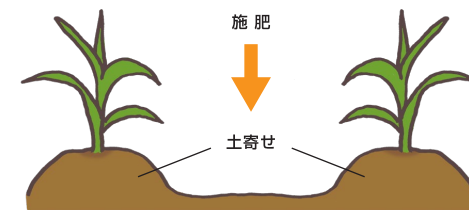
平らに均したら、畝幅70～75cmに株間30cmの間隔で1ヶ所3粒ずつまき、土を3cm程度の厚さにかけます。10日ほどで発芽します。本葉が2～3枚の時、生育の良いものを1～2本に間引きします。小面積の場合2本立てでも栽培できますが、1本立ての方が充実した大きな雌穂が収穫できます。



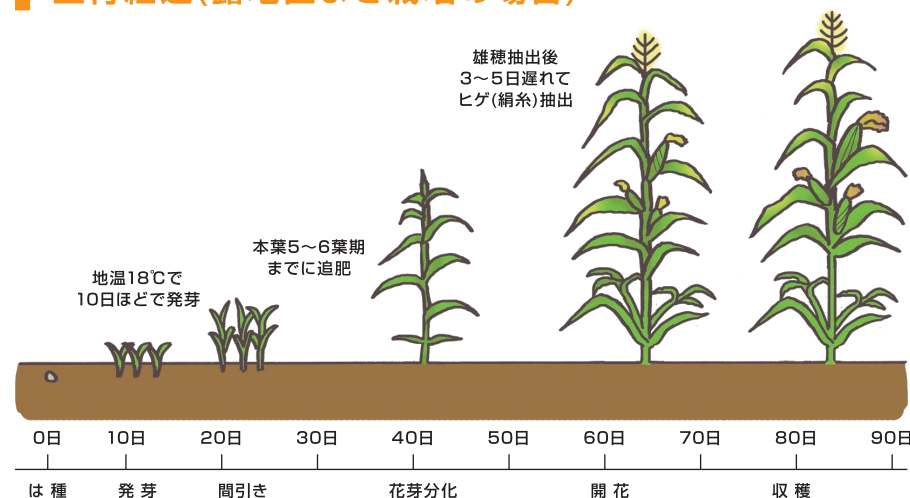
ハサミを土の中に入れて切り取り
生育の良い株を残す

追肥と土寄せ

スイートコーンは生育中期以降、生育量が急増するので、本葉5～6葉の時に窒素・カリ中心の化成肥料を1㎡当たり50gを畝間に施し、中耕除草を兼ねて軽く土寄せを行います(倒伏防止にもなる)。



生育経過(露地直まき栽培の場合)

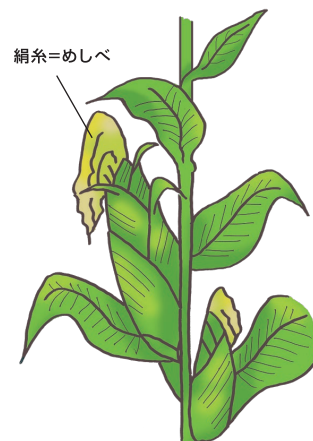


病虫害防除

問題となる害虫は、雄穂や絹糸(ヒゲ)に多く発生するアブラムシや雌穂に大きく食い込むアワノメイガやアワヨトウの幼虫です。いずれも生育最盛期の本葉9～10葉期が防除適期です。病気では雄穂や雌穂が異常に肥大する「黒穂病」が代表的です。発生したら罹病した穂を切り取り、地中深く埋めるかゴミとして捨てて下さい。発生した畑では毎年発生する可能性が高いので連作を避けます。

収穫

生育中の気温や品種の早晩性により異なりますが、絹糸(ヒゲ)が出て交配後、21～27日目頃が収穫期となります。絹糸が全体に褐変したら実入りの状態を確かめてから収穫します。常温では収穫後、急速に甘みや栄養価が低下するので、できるだけ早く調理しましょう。雌穂は1株に複数つきますが、1番上の雌穂が最もよく肥大します。上手な栽培ですと2番目の雌穂も収穫することができます。なお、絹糸が出るころに2番目以下の雌穂を取り除き(除房)ベビーコーン(ヤングコーン)として利用することができます。



容器栽培

コンテナ

■650型に2株植え(必要用土約12L)

赤玉土(小粒)7Lに苦土石灰と堆肥3Lを、植える2週間前に混和します。苦土石灰は30gを目安として、適正pHになるよう調整します。底土としてゴロ土を約2L使います。野菜用有機化成肥料15gを植える1週間前に混和し、コンテナに入れます。1カ所3粒まきとし、発芽揃い後1株1本立てに間引きします。

※絹糸(ヒゲ)が出たら茎を揺らせ交配を助けてあげます。
※水切れしないように注意し、本葉6葉期までに追肥します。



Q 穂先の実入りが悪いとか、粒列の途中が歯抜けになりますが、どうしてでしょうか？

スイートコーンの絹糸(ヒゲ)は雌しべで、雌穂の1粒・1粒にそれぞれ1本の絹糸が出ています。最上部にある雄花の花粉が雌しべである絹糸の全てに交配できれば完璧ですが、悪天候続きにより花粉の活性が落ちたり、肥料不足や干ばつ等で株が弱っていると十分に交配できないことがあります。このようなときにお尋ねのような状態となってしまいます。また、栽培株数が少ない場合に多く発生しやすいことから、雄花(花粉)を十分確保するためある程度まとまった株数の栽培をお勧めします。

Q 硬く甘みのない粒が混じることがありますが何故ですか？

スイートコーンは風で花粉が運ばれ受粉しますが、異なる品種の花粉が受粉されると花粉親の形質が雌穂に一定の影響を与えます。これを「キセニア」といいます。できれば隣近所と栽培品種の調整や統一をしたり、異なる品種を栽培する場合には開花時期をずらす等の対策が必要となります。

Q 分げつ枝の処理方法を教えてください。

基部から伸びる分げつは放置します。以前は取り除いていましたが、分げつの葉で作られる養分は根の伸長や雌穂の肥大・充実に役立つことが解ってからでは放置するのが一般的で、主茎の倒伏防止にも役立ちます。

Q しばしば雄穂を取ってあるものを見かけますが、意味があるのですか？

雄穂の切り取りを「トッピング」と言いますが、この効果としては①アブラムシの被害軽減、②草丈を低くして倒伏防止効果が期待できる、の2点です。但し、トッピングの時期が問題で、早く切りすぎると十分交配されなくなりますので、雌穂から出ている絹糸が萎れてから行ってください。



キャベツの栽培

アブラナ科 アブラナ属

キャベツの原産地は地中海沿岸のほか、北海から大西洋沿岸です。栽培の歴史はケルト人によって紀元前600年頃と、いられています。現在の軟球性キャベツは13世紀になり、イギリス、フランス、ドイツなどヨーロッパで改良が進みます。わが国へは明治初年、新宿御苑や三田育種場へ、北海道には開拓使によって札幌に導入されています。

特性(栽培ポイント)

- 1 冷涼な気候を好み耐寒性の強い作物です。
- 2 生育適温は5～25℃で、北海道が適しています。
- 3 土質をあまり選ばませんが、土壌pH6.5前後が適しています。
- 4 発芽初期に障害を受けやすいので、育苗した苗を植え付けます。
- 5 特に、幼苗期は病害虫に侵されやすいので注意が必要です。

品 種

品 種 名	早晩性	形	果重(kg)	タイプ	適 応 作 型
エックスボール	極早生	丸	1.1	ボール	春まき
アーリーボール	早 生	丸	1.2	ボール	春まき
岳陽(YR)	早 生	扁 円	1.4	中 間	春～初夏まき
藍春ゴールド	早 生	丸	1.5	サワー	春～初夏まき
冬 駒	晩 生	扁 円	2.7	寒 玉	春～初夏まき

育 苗

家庭菜園でのキャベツ栽培は作る本数が少ないので、園芸店で苗を入手する方法がお手軽です。家庭で育苗する時は、ポリポットに種子を4～5粒まき発芽したら3本に、本葉2枚で2本に間引き、本葉3～4枚で1本立ちにします。本葉5～6枚頃が植え付け適期になります(育苗期間約30日)。



育苗管理

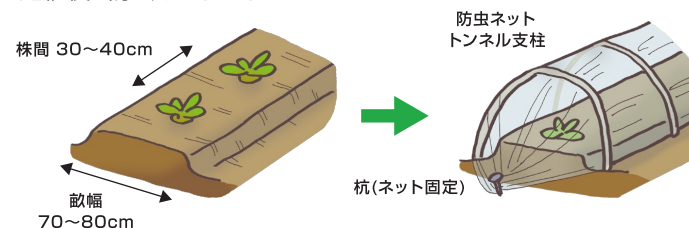
発芽が揃うまでの期間は、15～25℃の地温を維持します。30℃以上の高温では発芽不良や不揃いになります。発芽後は徒長しないよう15～20℃で育苗します。

畑の準備

遅くとも植え付けの2週間ほど前に1㎡当たり完熟堆肥2kgを施し、苦土石灰でpH6.5前後に調整します。1週間前に化成肥料(8-8-8)150gを全面に施します。畝幅70～80cm、株間30～40cmを目安に畑を準備します。

植え付け

植え付けは晴天の午前中に行います。植え付け前に植え穴、苗に十分灌水をしておきます。植穴には殺虫粒剤を混和し、深植えに注意して植え付けることで初期の食害を防ぎます。定植後、防虫ネットのトンネルをかけます。

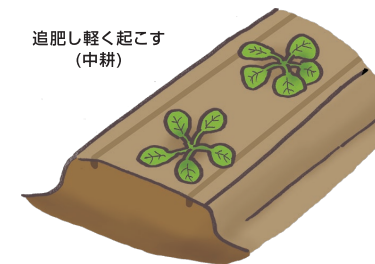


水やり

畑の状況によりますが、雨が7日から10日ない場合は土の乾燥状態を確認して、早朝か夕方の時間帯を選び、株間にたっぷり灌水します。日中の高温時に水やりして葉に水滴が残ると葉が傷むので、必ず朝夕に行います。

追肥・中耕・除草

苗が活着して約2週間経過した頃が1回目の追肥時期になります。中心部の葉が立ち結球開始時が2回目の追肥時期になります。追肥時に除草を兼ね軽く畝の表面に鋤を入れ、株元に土寄せと畝なおしをします。



病害虫防除

キャベツはアオムシ、コナガ、ヨトウムシ、アブラムシなど害虫の被害が多いので、植え付け後、防虫ネットを使用することで害虫の被害を防ぎます。根こぶ病は、根部に大小の瘤ができ発育は遅れ、葉色はあせ、茎葉がしおれるようになります。発病が激しくなると、途中で枯死します。対策はフルスルフアミド粉剤を全面に散布、土に混ぜた後に苗を定植します。黒腐病は葉脈を中心に葉縁に向かいV字型に病斑が広がります。菌核病は気温20℃前後で曇天が続く5月、9～10月に発生しやすくなります。結球開始時から収穫期まで薬剤を散布し予防します。

収 穫

中心部の葉が内側に巻き始めて20～30日経った頃で玉が肥大するので、手で押してみても固く締まっていれば収穫適期です。球が固く締まったものから順に、株元から包丁で切り取って収穫します。初夏から初秋の収穫は、押してみても、いくらかの弾力がある8分結球のうちに収穫するようにしましょう。収穫が遅れると、裂球することがあり、注意が必要です。

容器栽培

市販の培養土または赤玉土(小粒)7、腐葉土2、火山礫1、に2週間前に石灰14～20g、1週間前に化成肥料14～20gを施しておきます。石灰は適正pHになるよう調整します(p6表1参照)。

鉢 植 え

■10号鉢に1株植え(必要用土約8L)

植え付け	ミニキャベツ(プチキャベツ、このみ姫など)の苗1株を植えます。防虫ネットで覆います。
追 肥	5日おきに1回施し、外葉を大きく育てます。
水やり・増し土	土の表面が乾いたら、十分与えます。土が下がり根が露出したら増し土をします。
収 穫	植え付けから3週間頃から内葉が巻き始め、7週間頃には結球してきます。軽く押して固く締まったら収穫時期になります。

コンテナ

■46型(W46×D21×H21cm)に2株植え(必要用土約14L)

植え付け	ミニキャベツ(プチキャベツ、このみ姫)の苗を2株植えます(間隔を20cm)。防虫ネットで覆います。
追 肥 水やり・増し土	鉢植えに準じます。
収 穫	植え付けから3週間頃から内葉が巻き始め、7週間頃には結球してきます。軽く押して固く締まったら収穫時期になります。



キャベツの良い苗の見方、選び方について教えてください。

キャベツの苗は定植の時期近くになると園芸店や量販店に並べられます。次の点に注意して選んでください。①茎が太く全体がしっかりした感じのもの ②子葉が揃っていて、下葉にツヤのある緑色をしているもの ③茎の地際がしっかりしていてくびれないものなどを選びます。



種子袋にYR、CRとの記号がありましたがなんの略ですか？

YRというのは、萎黄病(いおうびょう)抵抗性という意味です。萎黄病は英名でYellowsといい、これに抵抗性(Resistance)があるのでYellows Resistanceといい、その頭文字です。CRというのは、根こぶ病抵抗性という意味で、根こぶ病は英名ではClubroot(クラブルート)これに抵抗性(Resistance)があるので、Clubroot Resistanceで、その頭文字となります。



キャベツの極早生、早生などの収穫目安は何日くらいですか？

家庭菜園向き春まきキャベツは、収穫までの期間が短い極早生、早生を選ぶのがよいと思います。植えつけ後約45日で収穫可能な極早生に'エックスボール'、約60～70日程度の早生には'アーリーボール'、'京波'、'おきな'、植えつけ後約80日～90日程度で収穫できる中生の'湖月SP'などがあります。



キャベツのサワー系、寒玉系のどちらを作るべきですか？

葉が柔らかくみずみずしくサラダに適したキャベツをサワー系(春系)と呼んでいます。一方、葉は硬いのですが、寒暖差の温度変化に適応力が強く、回鍋肉、餃子、ロールキャベツなどに加熱調理すると甘味が出る寒玉系があります。その他、球形のボール系の品種もありますので、用途や作型に合った品種を選びましょう。



ハウレンソウの栽培

アカザ科 ハウレンソウ属

ハウレンソウの原産地はイランを中心としたあたりで、そこから世界中に広がっていきました。日が長くなると花芽ができるので、夏に育てるときは季節にあった品種を選びます。冷涼な気候を好み、低温に強く雪の下でも冬越しができますが、高温に弱く25℃以上になると発芽不良、生育が停滞します。

品種

東洋種(剣葉系)

株元が紅色、葉の厚みが薄く、葉は葉柄が長く切れ込みが深く、種子は角張って先は尖りトゲがある感じ、長日・高温で抽苔しやすく、味は淡泊で和食向きです。

西洋種(丸葉系)

葉肉に厚みがある、葉は葉柄が短く切れ込みが無く丸い、丸種子が多く、抽苔が遅く、炒め物に向きます。

中間種

上記両種の一代雑種が多く、現在は明確に分類できなくなっています。

種まき時期と品種

種まき期	適応品種	種まき期	適応品種
早春まき	ブライトン、トリトン	晩夏まき	アステア、ミストラル
春まき	サイクロン、アリスト、サマンサ	寒締め	朝霧、冬霧7、雪美菜
夏まき	サイクロン、アリスト、スぺードワン		

畑の準備

湿害に弱いので排水の良い畑を作る。堆肥を前年秋に1㎡当たり2kgを施用し、深く起こし土になじませておきます。野菜の中では最も石灰を好む作物で、石灰を施用し土のpHを7前後にしておきます。石灰の施用は、種まきの2週間前までに、15～20cmの深さまで良く耕して混ぜます。春は高さ10cmのベッドを作り、栽培すると発芽率が良くなり病気も少なくなります。ただし、盛夏は平畝の方が土の温度が上がらず発芽が良いです。肥料は、種まき7日前に施用し、土塊を小さく整地して発芽にムラの生じないようにします。近くに街灯があるところは長日になり、抽苔しますので避けます。

肥料 (1㎡当たり施用量)

1 作目

園芸用有機肥料(8-8-8):100g、過リン酸石灰:40g

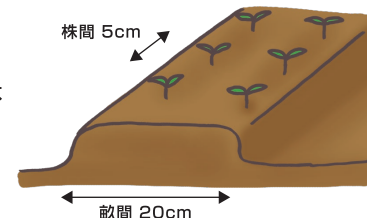
2 作目以降

園芸用有機肥料(8-8-8):50g

施肥量を多くすると収量は増加しますが、アクが強くなり、ビタミンCが低下して食味は低下し硝酸含量が増え、健康にマイナスになりますので、上記の量より多く肥料を入れないで下さい。

種まき

畝幅20cm間隔、まき溝の深さ1～2cm、種は1cm間隔でまきます。まきつけ後、溝を埋めるように覆土して押さえ、種子と土を密着させます。



間引き

は種後、本葉が出はじめたら、込みあっているところを2cm間隔で間引きします。その後、本葉4～5枚の時に5cm間隔で間引きします(図参照)。日照りが続いたら適時灌水します。雨が降り続いたら溝を掘ったり排水に心がけます。

収穫

草丈25cm位になったら収穫します。大きくなるとアクが強くなります。

病害虫

立枯れ病 発芽して間もなく地際から倒れ、湿潤な畑で多く発生します。

べと病 病原菌の胞子は7～15℃で良く形成され、低温時に発生します。

萎ちょう病 根から菌が侵入し萎れます。多肥を避け、堆肥を十分に施用します。

アブラムシ 天気の良い日が続くと発生が多くなります。

高温期は種の注意と栽培

ハウレンソウは寒い時期が旬の作物なので、盛夏に作るのには難しく性質を理解してから栽培しましょう。

- ① ハウレンソウの発芽・生育に良い温度は15～20℃で冷涼な環境を好み、気温が高いと発芽生育が難しいです。
- ② 種子の周囲に発芽を抑制する物質が付いているので除去します。

高温期の芽だし・まきつけ方法

発芽 抑制物質除去

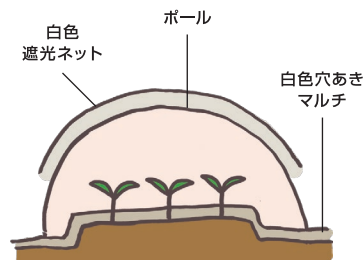
種子をお茶出し袋などに入れ、流水に12時間ほどさらし発芽抑制物質を流します。ため水で行う場合は半日で3回ほど水を替えます。発芽抑制物質を取り去ったネーキッド種子、発芽直前まで処理されたブライミング種子などがあり、これらの種子は流水にさらさなくても使用できます。

発芽

水に浸けた後は、よく水を切り、湿った布(目の細かいものが良い、粗いと根が絡む)・新聞紙などに包み涼しいところに置いて白い根(1mm)が出てきたらすぐにまきつけます。

高温期の管理

高温期の栽培は病気、虫がつきやすくなりますので、順調に生育するように、ホウレンソウの温度が上がらない工夫が必要です。穴あき白マルチフィルム(穴の間隔は条間20cm、株間10~15cm程度の物)で被覆し、地温の上がるのを防ぎます。まきつけ後、葉の温度を上げないように白色遮光ネット、白色防虫ネットなどでトンネル被覆を行い温度の上昇を防ぎます。遮光ネットの上に雨よけにポリフィルムを張るとさらに良いです。



容器栽培

コンテナ

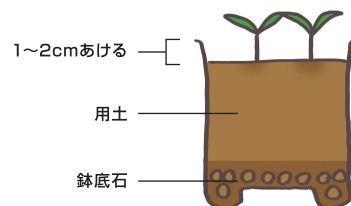
■650型に2条まき (必要用土約12L)

準備

自家製培養土は2週間前に赤玉土7L、堆肥3L、鉢底石2L、有機石灰15gを混ぜてコンテナに収め、水をかけなじませます。石灰は適正pHになるよう調整します(p6表1参照)。1週間前に野菜用化成肥料10gを入れ混ぜ、水をかけなじませます。市販培養土はそのまま使用します。

種まき

コンテナに2条、まく深さは1cm弱、種の間隔は1cm程度。間引き・追肥・収穫は通常栽培に準じます。



Q

冬にスーパーで「寒締めホウレンソウ」を見ますが、家庭菜園でできますか？

本来は寒い時期の野菜で、冬に栽培すると甘み、栄養価が増し美味しくなります。ホウレンソウは、-10℃の低温にも耐え、雪の下で冬越しができます。この性質を活かし、トンネル栽培で寒締めホウレンソウを作ってみてはいかがでしょうか。

1

気温が低い時期なので大きくなりにくくプラスチックフィルムトンネルやハウスに9月上~中旬にまき、収穫する大きさになるまで育てます。

2

収穫する大きさになったらトンネルの被覆を外しますが、いきなりトンネルをはずすと障害を受けますので、最初は日中1時間位から被覆フィルムを外し、1週間かけて全開にします。

3

全開してから1週間ほど過ぎると葉が寒さに慣れてきます。丸葉系(西洋種)は凸凹が入り、剣葉系(和種)は凹凸が入らないか、少ないです。

注意：肥料は少なめでじっくり育てます。多肥にすると寒さに弱くなります。

Q

石灰も肥料も十分に施用していますが、葉の色が悪かったり、斑点が現れます。どうしてですか？

ホウレンソウは石灰の好きな作物ですが、石灰を入れすぎると他の要素とのバランスが崩れて各種生理障害が発生し、葉の色が悪くなったり、斑点が現れたり、部分的に枯死したり、葉脈が網目状に黄色く斑が入ったりします。

土壌pHは7.1以上にならないようにpH測定をしてから石灰の調整をしましょう。

また、窒素肥料もやり過ぎると石灰欠乏症状が現れたりしますので、参考書に書かれている以上の肥料は施用しないように気をつけましょう。



長ネギの栽培

ユリ科 ネギ属

ネギの原産は中国の西部、中央アジア北部からバイカル地方とされ、日本には10世紀以前に渡来していて、現在では全国で栽培利用されています。気候条件等に合わせて、暖地では葉ネギ(青ネギ・小ネギ)、寒冷地を中心に長ネギ(根深ネギ・白ネギ)が多く作られています。

品種

種類	系統	主な品種	備考
1年ネギ	千住系	金長、元蔵、冬扇、長寿他	白根(軟白)ネギ、秋～冬採り
2年ネギ	加賀系	若様パワー、緑秀、下仁田	春～夏採り、越年栽培向き
葉ネギ	九条系	新九条、徳田、サワーグリーン	千本ネギ、緑葉採り

育苗

種から育ててみましょう。1年ネギ(秋どり)では、4月上～中旬に室内で育苗容器に種まきします。2年ネギ(越年ネギ)は5月中～下旬の種まきで間に合うので、直まきができます。

種まき (1年ネギ)

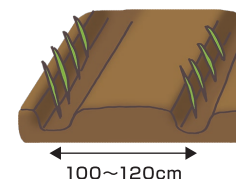
育苗用バットかプランターなどを用意し、市販の培養土で種まきをします。床土はあらかじめ灌水し、土が落ち着いてから5～10mm間隔で種をまき、5～6mm覆土をして軽く転圧します。発芽適温は15～25℃前後、8～12日で発芽します。発芽まで覆いをして乾燥を抑えます。定植苗(草丈25～30cm、葉鞘径4～5mm)に育つには、70～90日を要します。育苗期間が長いので状況を見ながら薄い液肥(1500～2000倍)を10日間隔で施すのも良いでしょう。

畑の準備と施肥

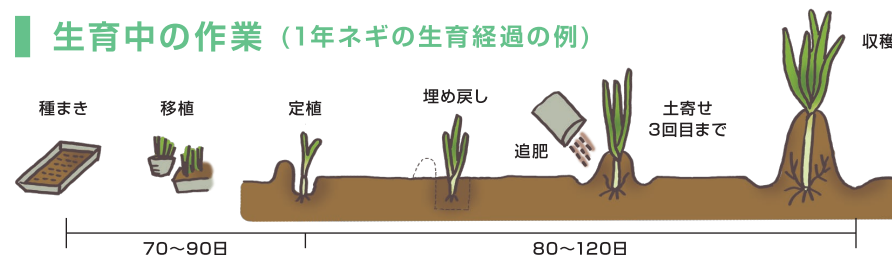
本畑は前年秋の耕起時、堆肥を1㎡当たり2kg、石灰はpH値をみながら1㎡当たり150gを限度として入れます。ネギの栽培に適した土壌pHは6.0～6.5ですから、石灰は本畑の状態をあらかじめ確認(アースチェック)して適正量を施します。基肥は1㎡当たり窒素10g、リン酸15g、カリ6gです。野菜用化成肥料(N-10:P-15:K-6)であれば、1㎡当たり100gを表層施肥して深さ10cmくらいにまぜます。

定植

十分深起した畑をレーキで均し、条間100～120cm間隔でクワ幅の溝を(深さ15cmくらい)掘ります。定植は、株間は5～6cmとして1株2本植えを基本とします。植え込みの深さは2cm、深植えにならないよう注意しましょう。苗が大き過ぎる場合は、葉の先端1/3くらいを切り落としても良いでしょう。粒状殺虫剤を畝に撒いて土に混ぜておきます。



生育中の作業 (1年ネギの生育経過の例)

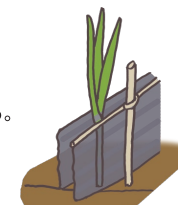


土寄せ

葉鞘分岐部(葉が分かれる襟元)が地上に出てきたら隠れる程度土を寄せます。一回目は定植約30日後、二回目は一回目の30～35日後、3回目は2回目の14～21日後、その後も収穫期まで葉鞘分岐部が見えたら随時土を寄せます。

土寄せのアイデア

- 1 黒いフィルムで株元を覆い、葉鞘分岐部の生長に合わせてフィルムを引き上げる。
- 2 株横に板枠を添えて、その中へ土を加える。
土寄せが難しい場合、枯れ草などで代用しても良い。



病虫害防除

べト病

葉に長円形、黄白色の大型病斑が出て、後に灰色のかびに進んで枯れます。高温と多雨による発生が多いので、早めに対策します。

さび病

葉に茶色の小斑点が付き、やがて葉全体に広がり生育が止まり枯れます。真夏の多雨で発生が多くなるので、殺菌剤の散布とともに、肥料切れをさせないのが対策です。

黒斑病

多雨による発生、また虫害などの傷から病菌が侵入します。害虫防除を徹底しましょう。

タマネギバエ

植え付け時、あらかじめ粒状殺虫剤等の散布をします。

アザミウマ
(スリップス)

幼苗時の被害は定植時の薬剤散布が有効です。成虫、幼虫共に被害がでます。7月下旬から8月に最も被害を受けるので適時農薬散布を行います。

収穫

軽い霜をうけて甘みが増すといわれます。慌てずに降雪の前あたりまで待って収穫します。土寄せの片側を切り崩して、スコップで根を浮かせ手で静かに抜き取ります。草丈が1mにもなっているので葉鞘分岐部の10cm程上部で切り取ってかまいません。2年ネギは越冬して翌春5月、雪解け後間もなく抽苔したら切り取って若芽が伸びてきたら収穫します。



容器栽培

コンテナ

■650型に2条植え(必要用土約12L)

基本的には、畑での栽培に準じます。根深ネギの容器栽培は難しいので、葉ネギ、小ネギを栽培してみましょう。品種は若様パワー、緑秀、NSS15などがよいでしょう。

種まきと
その後の
管理

用土は市販の野菜用培養土を使用するか、赤玉土(中)7:腐葉土2:バーミキュライト1の比率で混和しコンテナに8分目入れ、2週間くらい馴染ませます。施肥は種まきの1週間前に、野菜用化成肥料15gを深さ10cmに良く混和して均したら軽く転圧しておきます。は種は5月中旬用土表面に縦状に2条の植え溝(深さ0.5cm)を付け株間約1cmには種します。発芽後、芽の育ちに合わせ株間5~6cmに間引きして、用土が不足するようなら、随時土を加えます。

追 肥

植え付け2週間後くらいから化成肥料(8-8-8など)10gを株間に施して浅く混和します(液肥1500倍液を10日毎に与えても良い)。

収 穫

葉が30cmくらいに伸びたら、根元から3~4cm残して刈り取ります。刈り取った株元から新しい芽が出て、再び生長してきます。30日~40日で次の収穫ができるまでに育ちます。

Q

数年長ネギ作りに挑戦しています。なぜか必ず半分くらい腐ったように枯れます。病気ではないように思いますが。

いくつかの原因が考えられます。全体に枯れないというのは病気とはいえず、生理障害と思われま。ネギは過湿状態で枯れ込むことがあります。場所を多少移動(輪作のため)しても条件は変わらない場合もあります。水はけの悪い部分で株(根)腐れを起こします。畑の状況を確認してみましょう。そのほか肥料やけ(多肥)や、土寄せが深い(葉の分岐部が埋まるほど)などがありますが、それらでは、一部だけ傷むことは考えられません。

Q

取り残したネギが翌年春に抽苔してネギ坊主になってしまいました。株はもう使えないのでしょうか。

ネギは基本的に多年草です。気候条件で越冬できない品種もありますが、次の春に抽苔していれば株は生きていて生長を続けていますから、種を採るのでなければ、葱坊主を切り取って、脇に育つ新芽を育てると、再収穫ができます。

Q

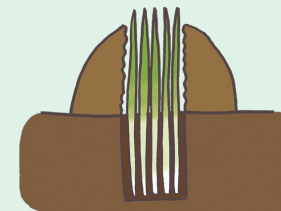
2年ネギを作りたいと思っています。品種とか作り方を教えてください。

ネギは多年草ですから、管理が適切であればどの種類でも越年して栽培が続けられますが、2年ネギとして改良された品種があり、容易に良質な製品を収穫することができます。加賀系の葉ネギで、若様パワー、緑秀、NSS15、下仁田種などが推奨されます。栽培は1年ネギを参考にしてください。種まきは6月で直まきします。1年ネギの収穫期(11月)ころには地上部が枯れてこのネギの収穫はできません。地下茎(球根化)が越冬して、翌春4月に発芽しますが、間もなく抽苔して「葱坊主」になりますから、早期に刈り取って脇芽の生長を促します。青葉が生長したら順次収穫ができます。

Q

貯蔵の仕方を教えてください。

戸外で貯蔵する場合は、白根部を地中に埋め青葉にコモを巻いて土を挟むように寄せ、両側は開けておきます。室内では2~3日、風通しで乾燥させ4~5本ずつ新聞紙に包んで5~8℃の場所に立てて保存するのが良いでしょう。





グリーンアスパラガスの栽培 ユリ科 アスパラガス属

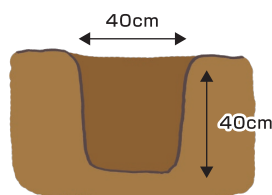
アスパラガスは、ヨーロッパ南部からロシア南部の原産です。生育の適温は12～28℃で、日当たりの良いところが適しています。雌雄異株で雌株には実がなり落下して雑草化します。多年草なので、作土が深く排水・保水性の良い土壤が適しています。夏秋に伸長した疑葉で光合成を行い、その養分を貯蔵根に貯め、春にその養分を使って若茎を伸ばします。北海道の気候がこの条件に最適で良品が生産できます。

品種

揃いの良いF1種が主流で、中でも全雄系(雄株のみ)が多くなっています。ウエルカム、バイトル、グリーントワー(ここまで性別混合)ガインリム(全雄)などがあります。

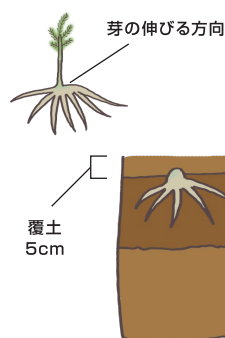
畑の準備

土壤改良は定植前に十分に行います。植え溝は幅40cm、深さ40～50cmに掘ります。掘り上げた土の半分に1㎡当たり、堆肥5～10kg、熔成リン肥(熔リン)100g、炭カル200g(pH値が6.0～7.0になるよう調整)を良く混ぜ溝の半分程埋め戻します。残り半分に1㎡当たり野菜用化成肥料150g、過リン酸石灰150gをよく混和して埋め戻します。



植え付け

定植は、5月下旬～6月上旬に行います。生育促進、雑草防止、地温の上昇を図るため、有色のマルチングを行います。栽植密度は1㎡当たり2.2株を基本にします(畝幅150cm×株間30cm)。根株は植え付けるまで乾燥させないように保管します。植え溝に芽の伸びる方向を同じにして根を広げて置き、5cm位の覆土をしてできれば灌水をします(根と土を密着させます)。

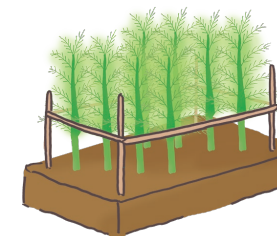


水やり

アスパラガスは、乾燥を嫌いますので、極端に降雨が少なく、土壤の乾燥が目立つ時には灌水を行います。特に、収穫期には灌水は有効です。

生育中の作業

養成中は、雑草が生えるので適宜除草を行います。茎葉が繁茂すると倒伏し光合成に支障をきたしますので、支柱を立て紐などで支える様にします。又、草丈が高くなりますので、1.5m位で先端をカットします。経年株では、茎数が多くなり光合成の効率が悪くなるので、茎径3mm以下の細い茎は間引きます。

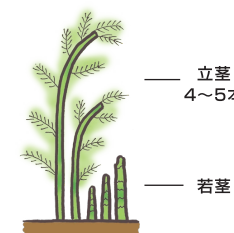


施肥

定植3年目以降は、融雪後1㎡当たり野菜用化成肥料63g、過リン酸石灰55gを施します。また、収穫打ち切り後に1㎡当たり硫安71g、硫酸カリ20gを株元から少し離れた位置に施します。

その他の作業

経年株では、収穫後1株に太い茎が4～5本あれば、養分蓄積のための生育は十分できますので、遅れて出てきたものは、収穫しても差し支えないので、大いに利用しましょう。



生育診断等

光合成により貯蔵根に養分を貯め、翌年その養分で若茎を生産するので、光合成を効率よくします。若茎の曲がりが多くなり、先端部が緩んできたら、収穫打ち切りのサインなので、収穫は止めましょう。逆に余り早くに打ち切ると生育旺盛で過繁茂になり病害が発生しやすくなります。霜に十分当たり茎葉が完全に枯れたら、地際部より刈り取り畑の外に出します。

病虫害防除

斑点病

地際部の茎や枝に、楕円状の褐色斑点ができます。8月中旬以降に多くなります。通気性を良くすることと、発生初期よりマンゼブ、TPN剤等で防除します。

茎枯れ病

茎に水浸状紡錘形の小さな斑点ができ、進行すると大型になり表面に黒色小粒点が生じます。6月下旬～7月上旬に雨が多いと発生が多く、斑点病と同薬剤で防除出来ます。

ジュウシホシクビナガハムシ

テントウムシに似た模様をもつ(体は細長い)虫で萌芽初期から食害し、加害された茎は曲がります。ペルメトン乳剤で防除します。

収 穫

定植2～3年目から、若莖が25～27cmに伸びたら、地際から刈り取って収穫します。細いものも残さず刈り取ります。最盛期になると1日2回収穫します。収穫遅れは株の消耗につながりますので注意します。収穫1年目7日間、2年目20日間、3年目50～60日間収穫可能です。

容器栽培

定植時の施肥は、用土に混合したものを詰めます。翌年からは容器の縁側に施肥します。収穫が始まると、新芽の出る近くには施さないようにします。

鉢 植 え

■ 菊鉢10号に1株植え（必要用土約14L）

アスパラガスは貯蔵根など根のボリュームがあるので、菊鉢10号が理想的です(径32.5cm、深さ28cm)。植える1週間前に、ゴロ土を底に入れ、野菜用化成肥料(緩効性)14gを加え用土と良く混和して、最初鉢の半分位まで入れ、根を広げて植え込み、芽の上5cm程度の覆土をします(鉢縁2cm位残します)。株の養成や収穫年次などは、一般栽培に準じます。



菊鉢10号

調理方法

グリーンアスパラガスは、固い莖の皮を根元から3～4cmむき、できれば長いままゆでましょう。湯が沸騰したら、少量の塩を入れて1～2分ゆで、冷水でさっと冷やすと鮮やかな色になります。ゆで時間は、調理に合わせて調節し、炒めものにする場合は生のまま使用します。

ホワイトアスパラガスの場合は根元から1/3の皮をむき、莖が固ければ根本1～2cmを切り落とします。湯が沸騰したら、やや多めの塩と少量のレモン汁を加え、下処理したアスパラガスとむいた皮・切り落とした根元を入れ5分ほどゆでます。ゆで上がったまま冷まします。レモン汁を入れるのは色をきれいにするため、皮と根元と一緒にゆでるのは風味づけになるためです。冷めたらゆで汁ごとタッパー等で保管し、2～3日で食べきるようにしましょう。



アスパラガスの施肥方法は？

融雪後と収穫打ち切り後の2回に分けて行います。融雪後は、1㎡当たり野菜用化成肥料63g、過リン酸石灰55gを全面に散布し、軽く土と攪拌しておきます。収穫打ち切り後とは、通常7月10日頃をいいます。その時点で施肥したのでは、吸収まで時間を要するので、実際は7月1日前後に施し、打ち切り後すぐに吸収できるようにし、初期生育を確保します。



テントウムシを細長くしたような虫が莖をかじっています。何という虫で防除法はありますか？

ジュウシホシクビナガハムシと言う草食性害虫です。名前の通り14個の黒い斑点があります(この虫はハムシ科でテントウムシはテントウムシ科なので別種です)。発生をみたら初期のうちにペルメトリン剤の散布が有効です。収穫前日まで3回防除が可能です。

ジュウシホシ
クビナガハムシ

7～8mm



オオニジュウヤホシ
テントウ

6.5～8mm



養成期になると、草丈も伸び雨風で倒れやすくなります。対策は？

草丈が2m近くになります。1.5m位の時に先端を刈り取り(トッピング)頭を軽くします。支柱を立て紐などで囲うのも有効です。雌株に果実がつくと倒伏しやすくなります。開花時の殺虫剤散布が結実を少なくするように感じます(訪花昆虫減少のため)。地面から40～50cmの下枝は除去して、通風をはかるのも有効な対策になります。



アスパラガスの保存方法は？

アスパラガスは生のままビニール袋に入れるか、ラップに包んで冷蔵庫に立てておくと、2～3日は保存可能ですが、時間とともに水分が失われて固くなり、苦味が出たり、栄養価も失われていきます。新鮮なうちに固めにゆでて、冷蔵して早めに使うか、冷凍して使うときに自然解凍するとよいでしょう。



ブロッコリーの栽培

アブラナ科 アブラナ属

原産地は地中海沿岸(イタリア)といわれています。数千年の歴史があります。日本での本格栽培は戦後で、近年生産・流通が急速に拡大しています。1つ1つの花蕾が沢山集まりその茎も肥大したもので、茎ごと収穫します。頂花蕾を収穫すると、側花蕾が伸びるのでこれも利用します。生育適温は18～20℃で、本葉5～6枚時に15℃で25日間程度低温に合わせます。最近は、菜の花のようなスティックブロッコリーや、でこぼこしたロマネスコなど様々な形をしたブロッコリーが売られています。

品種

品種の選定は、早晩生のほかに花蕾の色、形状、耐病性を参考にします。シャスター(極早生)、ピクセル(早生)、ハイツSP(中生)、グリーンパラソル(中生)、サマーポイント(中生)など多くの品種があります。

●は種から発蕾まで

早生種	70～80日	中生種	80～90日	晩生種	90～100日
-----	--------	-----	--------	-----	---------

畑の準備

土壌は特に選びませんが排水性がよく、有機質に富む日当たりの良い畑を選びます。定植2週間前に、1㎡当たり堆肥2kg、苦土石灰100g(pH値を確かめて調整)を全面散布し、30cmの深さに耕して良く攪拌します。1週間前には、野菜用化成肥料80gを全面散布し軽く攪拌しておきます。根こぶ病の発生するところでは、この時一緒に1㎡当たりフルスルファミド粉剤を20g全面散布します。

植え付け

定植は晩霜の心配ない5月下旬から行います(15cm位の高畝)。畝幅60cm×株間40cmにして生育促進を図るには施肥と同時にマルチをします。前日に苗に十分水やりをしておきます。植えこみは晴天で無風の午前中が理想的です。遅くとも3時前には終了します。深植えに注意し、軽く押さえるようにします。



生育中の作業

乾燥が続くと、生育が悪くなり、花蕾が褐変したり、小さくなるので適宜水やりをします。水やりの時間帯は午前中か夕方に行います。茎葉に直接かからないようにします(畝間かん水有効)。



分施は植え付け15日後位に化成肥料を1㎡当たり20g施し、軽く土寄せをします。風当たりの強いところでは、花蕾が見え始めるころ支柱を立てます。



生育診断等

7月どりの作型では、初期生育を促進するため基肥を中心に行い、8月どりでは、高温期のため生育量が旺盛になり通風が悪く、軟腐病が多くなりますので、施肥は分施主体にしましょう。

ボトニング(小花蕾)

茎葉の生育が不十分な状態で、低温にあい花蕾を形成した時や、肥料不足、湿害でも発生します。

不整形花蕾

蕾の発育が揃わない。花芽分化以降の高温による障害。

リーフィ(挿し葉)

花蕾に小葉が生じるもので、花芽分化後の高温、さらに窒素過多で助長されます。



ブラウンビーズ

花蕾肥大期に蕾が褐変、枯死します。原因は、高温、乾燥、強日射によります。

キャッツアイ

小花蕾の中央部に、蕾の間から緑黄色の花蕾基部が猫の目状にみえます。原因は、花芽分化時の低温の日数不足(25日間程度必要)により、十分な数の花芽が出来ずに花蕾粒の肥大差が発生するためです。

病害虫防除

軟腐病

地面に接した下葉が軟化腐敗し黄化します。ちょっとした傷から細菌が侵入します。高温多湿で発生が助長されます。適正な施肥管理も大切です。

花蕾腐敗病

花蕾の一部に濃緑色水浸状の病斑ができ2日程度で進展し腐敗臭を放ちます。耐病性品種の選択、適正施肥、土壌排水をはかります。

根こぶ病

根にこぶが着生し生育不良になります。連作を避け、薬剤を土と良く混和します。

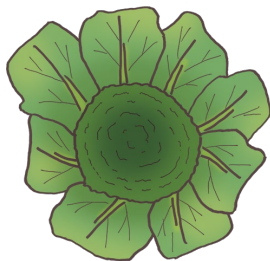
害虫

コナガ、アブラムシ、ヨトウムシ、アオムシが主で共通薬剤としてアセフェート水和剤等があります。

収穫

収穫は花蕾の1粒がゴマ粒大～虫ピン大に揃い、花蕾全体が締まって、花蕾の分枝が伸び始める前に収穫します。花蕾の大きさの目安は11～13cm(花蕾の径)ですが、花蕾が卵大に見え始めてから、6月・9月どりで10～12日目、7～8月どりで5～7日目程度で収穫になります。茎は花蕾の頂点から15cm付けて切り取ります。

花蕾が揃良く締まっている



容器栽培

容器栽培では用土の量が少ないので、水切れを起こさないようにします。鉢・コンテナ植えともに、草勢をみながら適宜追肥をします。

鉢植え

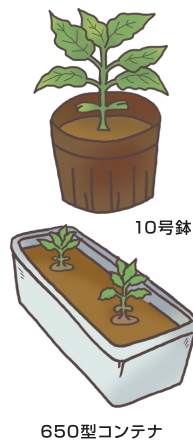
■10号鉢に1株植え(必要用土約8L)

植える1週間前に野菜用化成肥料を8g混和し、用土を鉢に入れ苗を植え付けます。

コンテナ

■650型に2株植え(必要用土約12L)

植える1週間前に野菜用化成肥料を10g混和して、用土をコンテナに入れ植え付けます。



Q

施肥法で分施とはどういう施し方ですか？

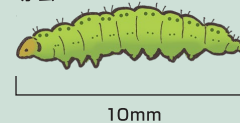
分けて施すということで、例えば野菜用化成肥料を合計で100g施す設計をします。植え付けるときに80g施し、残り20gは45日目に畝間に施す方法です。合計では設計通り100g施したことになります。追肥とは設計通り施したが、生育が思わしくなく、更に肥料を施したことをいいます。合計では設計量+αということになります。

Q

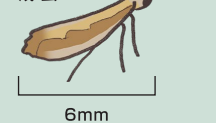
コナガとはどのような虫ですか？

コナガ(小菜蛾)はチョウ目(鱗翅目)に属する昆虫の一種です。アブラナ科植物を食害し、農業上においては重要害虫です。終齢幼虫でも10mmと小さく流線形をした虫で、葉の裏から不規則な形に葉肉だけ食害し、表皮を残すので食害痕は白く透けて見えます。年に5回ほど発生します。葉を動かすと幼虫が糸を引いて降りてきます。ペルメトリン、BT剤のローテーション防除が有効です。

幼虫



成虫



Q

軟腐病の防ぎ方を教えてください。

軟腐病の防除は困難を極めますが、排水性を良くし、風通しをはかります。施肥では窒素量を控え目にし、軟弱に育てないことです。降雨などで土砂が跳ね上がるのを防ぐ工夫をします(マルチ等)。花蕾形成を始める前後2回程度銅剤、オキシリニック酸剤で予防散布を行います。

※病害虫の防除は、日頃よく観察をして、早期発見、早期防除が最も大切なことだと思います。

防除

病気予防

状況を判断して、発病前に薬剤を散布します。

害虫駆除

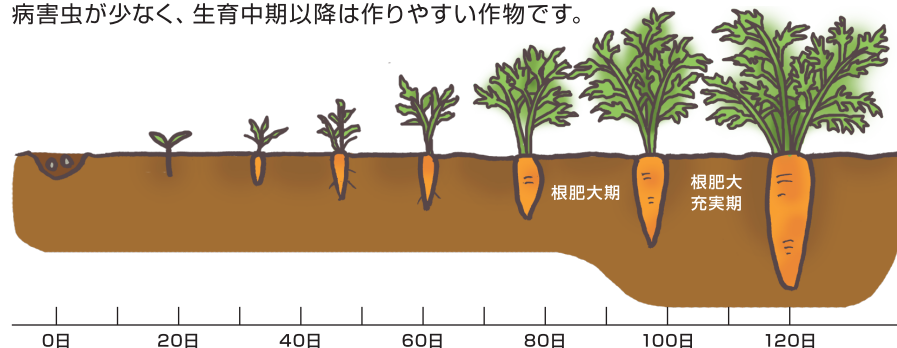
小まめな観察、発生初期に薬剤散布又は、捕殺。



ニンジンの栽培

セリ科 ニンジン属

原産地はヒマラヤからアフガニスタンの中近東で、冷涼な気候を好む作物です。発芽適温は20～25℃、生育適温は18～21℃です。生育日数は100～120日で、8月から11月にかけて収穫されます。北海道の特産野菜の一つです。タネが小さく、発芽当初は生育が遅いため、乾燥や雑草に弱く、十分な管理を必要としますが、病害虫が少なく、生育中期以降は作りやすい作物です。



品種と作型

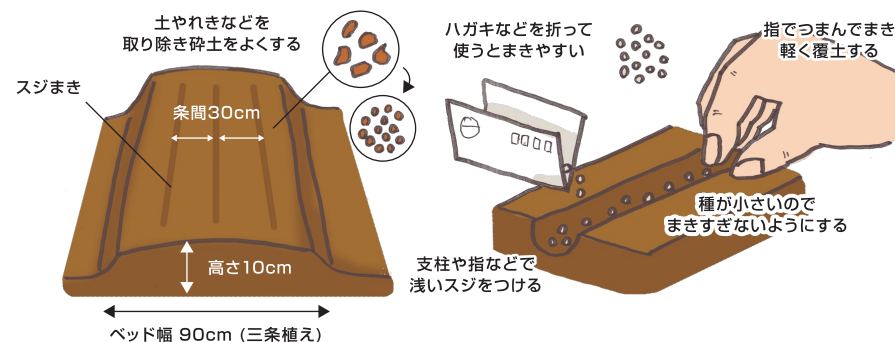
ニンジンには、長根種と短根種がありますが、家庭菜園用としては、短根種が作りやすいでしょう。短根種にも3寸、5寸などがあり、現在では5寸ニンジンが最も多く作られています。家庭菜園でのお勧めは、5寸ニンジンの「向陽2号」で、5～6月に種をまく作型です。

畑の準備

適する土壌pHは、pH5.5～6.5です。根が伸びる直下に硬い土壌や石礫や未熟な堆肥・有機物があるとまた根(分岐根)になりやすいです。堆肥は前年秋に1㎡当たり2kgを散布し、よく耕して分解を進めておきます。ニンジンの根は土の中で大きくなるので、畑の土はできるだけ深く耕し、よく砕いておきます。「5寸ニンジン」で20cm以上、「金時ニンジン」で35cm以上の作土の深さが必要です。1㎡当たりの施肥量は、成分量で窒素12g、リン酸15g、カリ12gですので、肥料は全量を元肥として、1㎡当たり苦土石灰100g、化成肥料100～150g程度を畑全面に散布し、ていねいに整地します。苦土石灰は適正pHになるよう調整します。堆肥や化成肥料を溝に施し、その直上に種をまくと、濃度障害で発芽が悪くなったり、また根(分岐根)の原因になりやすいので、畑全面に散布し、よく整地してから種をまきます。

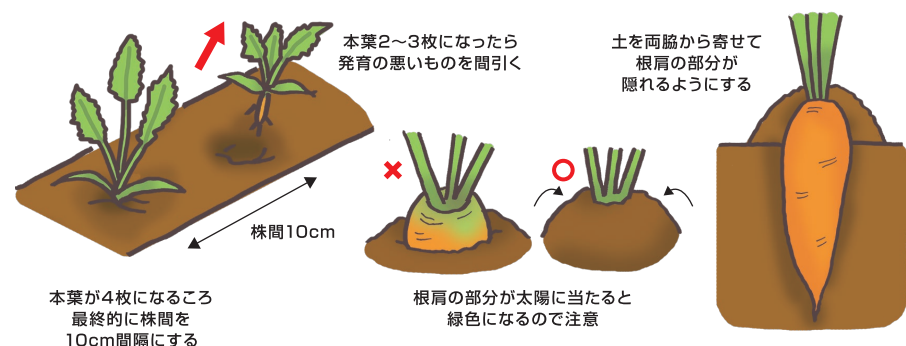
種まき

種まきは畝幅30～40cm、株間10cmの点まき(4～5粒ずつ)か、条まき(すじまき)とします。コーティング加工された種子を、株間6cm1粒まきし、無間引きで栽培する方法もあります。種が小さいのと、好光性種子なので覆土はごく薄くします。ニンジンの種は吸水力が弱いので土が乾燥しているとなかなか発芽しません。このような時は、水をまいたり、不織布をかけるのも良いです。20℃で、発芽まで10～12日程度かかります。



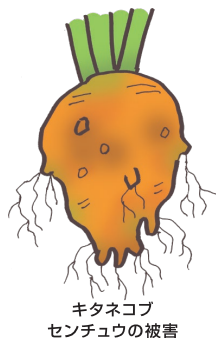
間引きと管理

発芽して株が込み合ってきたら、①本葉2～3葉期と、②4～5葉期の2回に分けて間引きし、1本立てとします。生育後期に根の肥大が進むと根肩部が地表に出てきますが、日光が直接ニンジンの根肩部に当たると緑色に着色するので、軽く土寄せします。



病害虫防除

被害の大きな病害虫は少ないので、無農薬栽培ができますが、黒葉枯れ病、斑点病、黒斑病などの病気や、キタネコブセンチュウ、ウリハムシモドキ、ヨトウムシ、ジノミ、キアゲハなどの害虫があります。防除法は、種子消毒、粉剤・粒剤などの土壌混和や、発病期に薬剤散布をすることです。



収穫・貯蔵

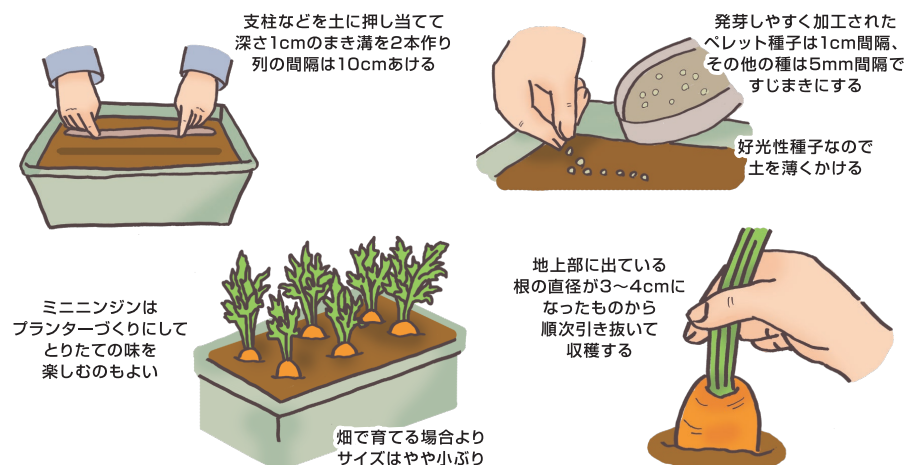
は種後100～120日で収穫時期となります。根肩部の直径が5cm位、170～200g程度の大きさになったら適時収穫します。あまり大きくしたり、収穫時期が遅くなると、裂根したり、質が粗剛になるので、大きくなったものから順次抜き取って利用します。長期間貯蔵する時は、葉を切り、根に傷の無いものを選んで、温度は0℃近く、湿度95%の所で貯蔵します。-1.4℃以下になると、凍結しますので注意します。

容器栽培

コンテナ

■650型にすじまき（必要用土約16L）

ベランダでのニンジンのコンテナ栽培は、コンテナ650型16Lに市販の培養土16Lと肥料にする苦土石灰14g、化成肥料(N-P-K=10-12-10)14g、熔成リン肥10gを混ぜ合わせます。苦土石灰は適正pHになるよう調整します(p6表1参照)。



Q ニンジンは、発芽が悪いといわれますが、発芽を良くする方法は？

ニンジンの種子は好光性です。また、細かく、水分の吸収力が弱いので、覆土は薄くし、土を乾燥させないようにします。1.降雨の前後に種まきをします。2.覆土の上から手で押さえるか、鍬・レーキの背で押さえます。3.水をまいて土を湿らせます。

Q ニンジンのまた根(分岐根)は何故おきますか？ 防ぐ方法は？

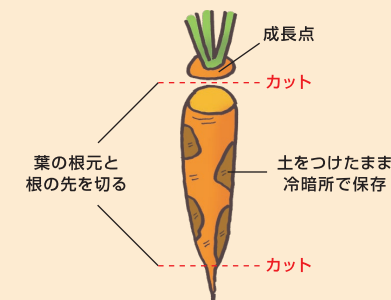
土の中で真っすぐで、きれいなニンジン育てるためには、邪魔になりそうな石や異物を除き、未熟堆肥を施用しないことです。また、水はけの悪い畑では、高さ10cm以上の高畝にすることです。キタネコブセンチュウの被害で発生することもあります。マリーゴールドを栽培した畑で作付けすると被害が防げます。

Q ニンジンの裂根は何故おきますか？ 防ぐ方法は？

生育前半に乾燥にあい、後半土壌水分が多くなったとき。初期生育が不良で、その後急激に肥大が進んだとき。収穫の遅れによる過熟のときに起こるので、収穫遅れにならないようにします。

Q ニンジン保存する時に注意することは何ですか？ また、そのままにしておいて春に収穫することができますか。

土つきのまま箱などに入れて乾燥を防ぎながら冷暗所に保存します。このとき、スが通ってしまうのをさけるため、葉と根のさかい目の成長点は全て切り落とします。冬雪が多く、土が凍らないところでは、畑で越冬させ、春に収穫することができます。秋に根肩部が露出しないように土寄せをすると、越冬歩留まりが良くなります。冬期間雪中より掘り起こして収穫することも可能です。



野菜の貯蔵法

特徴

野菜は収穫後も呼吸や蒸散をしています。そのため、葉の萎れ、黄化など成分が減少します。収穫後の野菜貯蔵は、呼吸や蒸散を抑えて消耗させないようにします。鮮度維持には、温度と湿度が重要になります。

野菜の貯蔵条件

品目名	貯蔵温度	貯蔵湿度	貯蔵目安	エチレン生成	エチレン感受
トマト	8～10℃	85～90%	7～10日	多	低
ナス	10～12℃	90～95%	7～10日	少	中
ピーマン	7～10℃	95～98%	2週	少	低
キュウリ	10～12℃	85～90%	10～14日	少	高
サヤインゲン	4～7℃	95%	7～10日	少	中
ブロッコリー	0℃	95～100%	7日	極小	高
ダイコン	0～1℃	95～100%	3ヶ月	極小	低
サツマイモ	13～15℃	85～95%	4～7ヶ月	極小	低
ジャガイモ	4～8℃	95～98%	5～10ヶ月	極小	中
ホウレンソウ	0℃	95～100%	10～14日	極小	高
レタス	0℃	98～100%	10～14日	極小	高
ハクサイ	0℃	95～100%	2～3ヶ月	極小	低
ニンジン	0℃	98～100%	3～4ヶ月	極小	高
キャベツ	0℃	98～100%	3～4ヶ月	極小	高

冷蔵庫に入れない野菜

原産地が熱帯や亜熱帯の野菜は、低温に弱く冷蔵庫で保存すると低温障害を起こします。サトイモ、ナス、キュウリ、ピーマン、カボチャ、ジャガイモなどの野菜は10～14℃の保存温度が最適です。

カット野菜の保存

野菜はカットするとエチレン(老化植物ホルモン)が発生しやすくなります。カットした場合はラップをするか、ポリ袋に入れて冷蔵庫で保存します。

室内貯蔵(室温0～5℃で貯蔵)

ハクサイ、キャベツ

予備乾燥 外葉を付けた状態で、切り口を上にして3～4日日陰で乾燥させる。

包装 新聞紙に1個ずつ包みます。

貯蔵 深めの段ボール箱に切り口を下に向け立てて貯蔵します。室温0～5℃が適温です。貯蔵期間は、キャベツ:11月中旬～2月中旬、ハクサイ:11月中旬～1月上旬が目安になります。時々乾燥、腐敗など保存状態を点検します。



ダイコン、ニンジン、ゴボウ

葉切り・予備乾燥 根菜類は葉を切り落とし、泥付きのまま軽く乾燥させます。ス入りや傷は腐れの原因になります。

包装 新聞紙に包みます。ゴボウは2～3本包みます。

貯蔵 根を下にして立てて保存します。期間は、ダイコン:11月中旬～2月上旬、ニンジン:11月中旬～2月上旬、ゴボウ:11月中旬～2月下旬が目安になります。ときどき点検をして腐れたものは取り除きます。

ネギ

予備乾燥 充実したものを選び2～3日乾燥させます。枯れ葉を取り除きます。

包装 新聞紙に2～3本包みます。

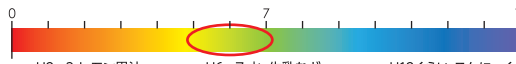
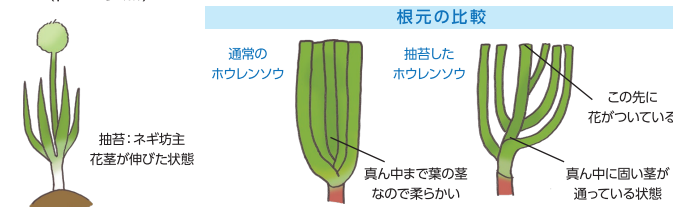
貯蔵 段ボールに根の方を下に立てた状態で保存します。11月中旬～1月上旬が目安になります。



ブランチングと冷凍保存

野菜を冷凍保存する場合、茹でる、蒸すといった加熱処理をブランチングといいます。酵素の働きを止めることで、変色を抑え長期保存ができます。ブランチングをした野菜には、冷凍耐性ができ、解凍後にベチャベチャにならず調理できます。スイートコーン、エダマメ、サヤインゲンはそのまま、カボチャはポリ袋やラップをしてフリーザーバッグに入れ冷凍保存します。

野菜の用語メモ

pH ピーエイチ またはペーハー	水素イオン濃度指数のことで、酸性度、アルカリ性を判断する指数です。0から14まであり、7が中性で、7より数値が大きくなるとアルカリ性に傾き、7より小さくなると酸性に傾きます。作物によって栽培に適した土壌pHの値が異なるので、pHを測定してから苦土石灰やピートモスなどの施用量を調整しましょう。 pH5〜7くらいが 植物が暮らしやすい土壌  pH2〜3 レモン果汁 pH6〜7 水・牛乳など pH12くらい こんやく
親づる・子づる おやづる・こづる	親づるとは子葉(双葉)の成長点からそのまま伸びているつるのことです。主枝ともいいます。親づるから枝わかれしたつるを子づるといいます。子づるから枝わかれしたつるを孫づるといいます。
水浸状 すいしんじょう	植物の病態を表現する時に使います。葉や果実などの病変部位が、水に浸けられてしみこんだように見える状態です。病変部位の境目です。
成長点 せいちょうてん	植物のからだの中で細胞分裂が一番盛んなところです。根や茎の先端にあります。根の成長点は根端分裂組織、茎の成長点は茎頂分裂組織といえます。
中耕 ちゅうこう	栽培中に土を浅く耕すことです。土を柔らかくし、攪拌することで空気を含ませます。中耕と同時に草取りをすることも多いので、中耕除草といった使い方をすることが多いです。
抽苔 ちゅうだい (苔立ち) とうだい	葉物野菜などで花茎(かけい:花芽をつけた茎)が伸びてとうだちしてしまうこと(花芽分化)です。ネギやホウレンソウなど葉を利用する野菜が花をつけようとすると、花の成長に栄養をとられ葉が固くなり味が落ちてしまいます。野菜の種類によって抽苔する条件は違っており、ホウレンソウなどは日照時間の長さによって花芽形成されます(p.35参照)。 根元の比較  通常のホウレンソウ 抽苔したホウレンソウ この先に花がついている 抽苔: ネギ坊主 花茎が伸びた状態 真ん中まで葉の茎 なので柔らかい 真ん中に固い茎が 通っている状態
分けつ ぶんげつ	農業用語ではイネ科作物が稈(かん)(茎)から枝わかれして葉が出ること、また枝わかれして出てきた葉のことをいいます。 分けつ (スイートコーンの場合)  稈(茎) わき芽



「咲き終わった花の手入れはどうしたらいいの?」「肥料はいつ何をやればいいの?」こうした園芸に関するさまざまな相談に、専門知識をもった経験豊かな「緑の相談員」がお答えします。直接お越しになるか、電話でも相談をお受けしています。

百合が原緑のセンター

北区百合が原公園210番地

開館時間 8時45分～17時15分

休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)
12月29日～翌年1月3日

相談日 4月中旬～11月上旬、毎週木・日曜日

時間 10時～12時、13時～16時

温室観覧料

- 大人(高校生以上) 130円
- 中学生以下・65歳以上 無料

(学生証・敬老手帳などをご提示ください)

豊平公園 緑のセンター

豊平区豊平5条13丁目

開館時間 8時45分～17時15分

休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)
12月29日～翌年1月3日

緑の相談 TEL.011-811-9370

相談日 上記休館日を除く毎日

時間 10時～12時、13時～16時

平岡樹芸センター

清田区平岡4条3丁目1-1

開園時間 8時45分～17時15分

休園日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)
11月4日～翌年4月28日

緑の相談 TEL.011-883-2891

相談日 4月29日～11月3日 毎週水・土曜日

時間 10時～12時、13時～16時

みどりの図書

各センターでは、園芸、緑化、自然などに関する書籍や雑誌類を自由にご覧いただけます。

札幌市都市緑化基金

都市の緑は、私たちの生活に四季折々の季節感や心のゆとり、
やすらぎ、うるおいなど、かけがえのない充足感を与えてくれます。

札幌市は、道路、公園などの公共施設の緑化をはじめ、
市民の協力を得ながら地域の緑化に努めて、
現在、全国でも屈指の緑豊かな街になりつつあります。

しかし、街全体が緑と花と木陰に包まれた
「ゆとりとうるおいのある街」を実現するためには、
公園などの公共施設の緑だけではなく、
個人の住宅や事業所の周辺など民有地の緑化が不可欠です。

札幌市都市緑化基金は、市民の皆様から
寄附をいただいたお金を積み立て、
その果実(利子)で民有地の緑化を進めていこうとするものです。

私たちの街札幌を次代の市民に誇れるより緑豊かな
魅力ある街にするため、「札幌市都市緑化基金」の積み立てに
市民の皆様の暖かいご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1. 植樹等による民有地緑化事業

(1) 記念樹プレゼント

札幌市民の結婚、出産、新築、入学などの人生の節目のお祝いに際して、自宅の庭などで苗木を育てることを目的に、事前応募による苗木配付を行いました。

- ①配付月日 平成27年5月16日(土)・17日(日)
②配付場所 百合が原公園

配布苗木名	配布本数
ライラック(花色:白色)	102本
ライラック(花色:紫色)	124本
ライラック(花色:ピンク系)	175本
合 計	401本

(2) 緑化ツタ苗補助

家庭及び事業所等の壁面緑化を計画している札幌市民に対して、植込み予定数の半数(最大15本まで)のナツツタの苗を補助し、壁面緑化の推進を図りました。

	春 季	秋 季	合 計
補助件数	12件	11件	23件
補助苗数	82株	78株	160株
緑化延長	202m	153.1m	355.1m

2. 緑化推進に関する普及啓発事業

(1) 第27回さっぽろ緑と花のフォトコンテスト

緑化意識の高揚と啓発を図るため、市内の公園・緑地での花と緑、自然とのふれあいなどをテーマにフォトコンテストを実施し、グランプリ1点、優秀賞6点(各部門3点)、入賞20点(各部門10点)を選考しました。

- 応募総数 128名 518点
・四つ切り部門 …………… 63名 184点
・サービスサイズ部門 …… 65名 334点

- 表彰式 平成27年10月21日(水) 札幌すみれホテル
■入賞作品の展示 期間: 平成28年3月18日(金)～3月23日(水)
場所: 富士フィルムフォトサロン<札幌>

(2) 第49回緑の絵コンクール

緑化意識の高揚と啓発を図るため、札幌市内の小学生・中学生を対象とした、緑をテーマとした絵画コンクールを札幌市との共催により実施し、優秀作品50点及び優秀校2校を選考しました。

- 応募総数
・小学校 …………… 20校 464点
・中学校 …………… 24校 335点

- 表彰式 平成27年10月17日(土) ホテルノースシティ
■入賞作品の展示 期間: 平成27年10月16日(金)～20日(火)
場所: 札幌地下街オーロラコーナー

3.都市緑化サポーター養成事業

(1) さっぽろまちづくりガーデニング講座

花や緑を通して地域や社会に貢献できるボランティア、都市緑化のサポーターを養成するため、ガーデニング講座を開講しました。(実習10回・講義10回)

4.緑を通して地域コミュニティの活性化を促す事業

(1) フラワーポットの貸出し

町内会、商店街等の緑化活動に対して、身近な緑の創出と花壇造成の一助となるようフラワーポットを3年間無料で貸出しました。

・貸出数：10団体 300基 ※初年度のみ花苗と培養土を提供

5.緑のまちづくり活動への助成及び支援

(1) さっぽろガーデンシティ活動事業助成

都市緑化の推進や緑化活動によるコミュニティ活性化を図るため、団体などが行う花や緑のまちづくり事業に対して、必要経費の一部を助成する事業を行いました。

・助成財源：一般財団法人民間都市開発推進機構(MINTO機構)からの拠出金
・申込：4団体、助成1団体

(2) さっぽろ花と緑のネットワーク事務局の運営

花と緑のボランティア活動に携わる人や、自宅でガーデニングを楽しむ人たちの相互交流を図り、活動に役立つ情報を提供するため、「さっぽろ花と緑のネットワーク事務局」を運営し、「さっぽろタウンガーデナー」への登録促進と様々な活動を支援しました。

平成27年度札幌市都市緑化基金へご寄附頂きありがとうございました

北海道造園コンサルタント・東洋実業コンソーシアム／大橋 健／小暮 輝久／矢部 真／小野 喜世彦／株式会社どりーむ／「緑の募金」札幌市役所職場募金／北海道新聞社 北海道マラソン組織委員会

※順不同・敬称は省略させていただいております。 ※平成28年1月末現在

上記に掲載のみなさまのほか、設置している募金箱へもたくさんの募金を頂戴いたしました。今後も緑あふれる札幌の街並みが創り出されるよう、事業を企画・実施してまいります。



すくすくみどり No.25

家庭菜園にチャレンジ! part2

～ 野菜の栽培方法+悩み解決Q&A ～

平成28年 3月 発行

文・編集 緑の相談員・すくすくみどり編集委員

発行 公益財団法人札幌市公園緑化協会

この冊子は札幌市都市緑化基金の運用益をもとに製作しています。